Fiery Impose Plus

© 2026 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2026 年 11 月 8 日

目次

Fiery Impose Plus 7
Fiery Impose Plus ライセンスのアクティベート 7
Fiery Impose Plus でジョブを開く 7
新規ジョブの追加 8
ページまたはイメージファイルの挿入 8
セッション間で保存されるユーザーインターフェイスのカスタマイズ内容 9
Fiery Impose Plus の環境設定 9
ユーザー環境設定について 9
PS を PDF に変換するための Adobe Acrobat Distiller 設定の選択 12
デフォルトの拡大縮小値 12
フィニッシャーのデフォルトのデバイスプロファイルを設定する 14
ユーザー定義面付けテンプレートの場所の変更 14
シートの選択 15
PS から PDF に変換 15
macOS での PS から PDF への変換 15
Fiery Impose Plus へのアクセス 16
スプール済みまたは待機ジョブにする 16
Command WorkStation から Fiery Impose Plus にアクセスするには 16
ジョブのプロパティから Fiery Impose Plus にアクセスするには 16
面付けレイアウト 17
面付けレイアウトについて 17
Fiery Impose Plus での Adobe PDF Print Engine の処理 18
製本方法 19
クリープ 20
ブランクページを挿入してレイアウトを調整するには 21
面付けするジョブのプレビュー 21
シート寸法の表示と測定 21
面付けされたジョブのシートを表示するには 22
ジョブの面付け 22
面付けテンプレート 23
ユーザー定義およびトリムボックスに合わせる仕上がりサイズ用テンプレートのサポート 23
面付けテンプレートの適用 24
面付けされたジョブを保存するには 25
Fiery Impose Plus でのギャングアップ印刷 26
上辺とじのギャングアップ 29

動的トリムボックスの自動化 30
ギャングアップ反復に合わせる 31
Fiery Impose Plus でのギャングアップ設定の指定 33
Fiery Impose Plus でのギャングアップ方法の設定 35
ギャングアップスタイルとギャングアップ方法の組み合わせ 36
ギャングアップの行と列のレイアウト設定を指定する 37
VDP ジョブでのギャングアップ面付け方法 37
面付け設定 39
製品インテントワークフローの選択 39
Fiery Impose Plus の仕上がりサイズオプション 40
Fiery Impose Plus でのシートサイズの設定 41
Fiery Impose Plus での両面設定 41
Fiery Impose Plus における拡大縮小設定 42
拡大縮小設定の指定 42
表紙の用紙の設定 42
レイアウト方向の設定 43
Fiery Impose Plus でのワークフローごとのブリード 43
ブリードの設定 43
レイアウトのオフセット 44
マージンを設定する 44
Fiery Impose Plus でページマークを設定するには 45
Fiery Impose Plus でのブックレット設定の指定 50
ブックレット用のとじ設定の指定 51
ブックレットの製品インテントで行と列を指定する 51
辺とじオプションに使用できるスタイル 51
クリープ設定の指定 52
向きが混在する面付けジョブでの自動ページ回転 52
Fiery Impose Plus での手動によるページの変更 53
ページの回転 53
ジョブを開いて Acrobat で編集する 54
ページの順序の変更 54
手動によるブランクページの挿入 54
ページの削除 54
Fiery Impose Plus の VDP 54
VDP ジョブを開く/プレビューするには 55
バリアブルデータ印刷ジョブの面付け 55
VDP ジョブのコントロールストリップの印刷 55
VDP 面付けのブックレット、拡大縮小、またはブリードの指定 56

VDP 面付けでのギャングアップ設定 57
多機能仕上げデバイスとの統合 59
レジストレーションマークおよびバーコードの設定 60
フィニッシャープリセットの適用 60
フィニッシャープリセットの作成 63

Fiery Impose Plus のトラブルシューティング 73

Fiery Impose Plus

Fiery Impose Plus では、印刷およびとじの特殊なニーズに対応する面付けレイアウトを適用できます。Fiery Impose Plus を使用する際には、バリアブルデータ印刷ジョブの面付けも実行できます。

Fiery Impose Plus では、次の操作を行うことができます。

- 1 枚のシート上への複数のページの配置、シート上にレイアウトする行および列の数の指定。一般的な面付けするための事前定義されたレイアウトを使用したり、カスタムレイアウトを作成したりできます。
- シート上へのページ配置設定：Fiery Impose Plus レイアウトは、折りや裁断などの要素の位置をプリンターのページマークで指定します。

Fiery Impose Plus に Command WorkStation からアクセスし、**Fiery Preview** ウィンドウで開くことができます。

Adobe Acrobat は Fiery Impose Plus と互換性がありますが、別途ライセンスが必要です。

Fiery Impose Plus は、Windows と Mac の両方でサポートされています。システムの要件については、取扱説明書の一部である『設定管理』 を参照してください。

Fiery Impose Plus ライセンス

Fiery Impose Plus の全機能を使用するには、ワークステーションで Fiery Impose Plus のライセンスを有効にする必要があります。

Fiery Impose Plus ライセンスのアクティベート

Fiery Impose Plus ライセンスをアクティベートするには、ライセンスアクティベーションコード（LAC）が必要です。使用するコンピューターがインターネットに接続されている場合は、ライセンスは自動的にアクティベートされ、インターネットに接続されていない場合は手動でアクティベートできます。

PDF/VT ジョブ処理は、Fiery システムソフトウェア FS600/600 Pro 以降を実行している Fiery サーバーに有効な Fiery Impose Plus LAC が存在する場合、ユーザー定義の仕上がりサイズおよびトリムボックスに合わせるワークフローでサポートされます。

Fiery システムソフトウェア FS700/700 Pro 以降を実行している Fiery サーバーでは、フィニッシャープリセットの PDF/VT ジョブへの適用がサポートされています。

1. Command WorkStation でジョブを右クリックし、**Impose Plus** を選択します。
2. **Fiery オプション管理**ウィンドウで**ライセンスのアクティベート**をクリックして、ライセンスアクティベーションページを開きます。
3. 詳細については『Fiery Client SW License のヘルプ』を確認してください。ライセンスアクティベーションページの右上にある？（ヘルプ）アイコンをクリックすると確認できます。

Fiery Impose Plus でジョブを開く

ライセンスをアクティベートすると、Fiery Impose Plus でスプール済みまたは待機ジョブを開くことができます。

メモ：ジョブを Fiery Impose Plus で開く場合は、**ジョブのプロパティ**で同じジョブを開かないでください。

1 Command WorkStation の**待機**リストから PostScript または Adobe PDF のジョブを選択します。

2 **アクション**メニューで、**Impose Plus**。
ジョブを右クリックして、**Impose Plus**。

複数ページある書類の 1 ページを選択するには、**Option キー**（macOS の場合）または **Alt キー**（Windows の場合）を押しながら**シート表示**ウィンドウのページをクリックすると、同じページが**ページ表示**ウィンドウでも選択されます。

新規ジョブの追加

Fiery Impose Plus でまったく新しいジョブを作成することができます。

新しいジョブを作成するには、使用するコンピューターに、Fiery Impose Plus のライセンスが必要です。

1 **新規ジョブ**アイコンを Command WorkStation ツールバーでクリックするか、**ファイル**メニューから選択します。
新しいジョブが Fiery Impose Plus で開きます。

2 必要に応じて設定を適用します。

3 必要に応じて、既存のジョブからページを挿入します。
ページはソース PDF 書類からのみ挿入できます。挿入タブとして以前にそのジョブに追加されたページは挿入できません。

ページまたはイメージファイルの挿入

Fiery サーバーまたはご使用のコンピューターで、ジョブからページを挿入することができます。

1 ファイルを挿入するには、次のいずれかの操作を行います。

- **アクション** > **PDF または PS ファイルの挿入**の順にクリックします。
- **アクション** > **タブ挿入**をクリックします。

2 次のいずれかを行います。

- ファイルの保存場所を参照し、**開く**をクリックします。
- サーバージョブの場合は、リスト内のファイルをクリックし、**OK** をクリックします。

3 次のいずれかを行います。

- **ページの挿入**ウィンドウの横で、新規ページを挿入する場所を選択します。ジョブの最初、ジョブの最後、ページの後、またはページの前を選択し、**挿入**をクリックします。
- 特定のページを挿入するには、そのページを**ページ表示**ペインにドラッグし、適切な順序で配置します。

セッション間で保存されるユーザーインターフェイスのカスタマイズ内容

システムでは、ユーザーインターフェイスのカスタマイズ内容が、Fiery Impose Plus に保存されます。

同一製品のインテントでは、ユーザーインターフェイスのカスタマイズ内容がセッション間で保存されます。新規セッションを開くと、前のセッションのカスタマイズ内容（次に示すもの）が復元されます。

- メインウィンドウの位置とサイズ
- ウィンドウ内でのユーザーインターフェイス設定（次に示すもの）
  - **ページ表示**と**シート表示**のサイズ
  - 折りたたみ可能なウィンドウの展開または折りたたみ状態：**ページ表示**と**シート表示**
  - **ページ表示**サムネイルと**シート表示**ページのズームレベル

メモ：システムでは、最初の製品インテントに対するカスタマイズ内容を保存します。Fiery Impose Plus を閉じると、復元する設定はその製品インテントに保存され、次回その製品インテントを開いたときに適用されます。

Fiery Impose Plus の環境設定

環境設定を使用すると、一時ファイルのパス、PostScript から PDF への変換用のデフォルト設定、拡大縮小、面付け済みジョブのデフォルト仕上がりサイズなどを設定できます。

Windows では、Fiery Impose Plus の環境設定を**編集** > **環境設定**で行います。macOS の場合、環境設定は Fiery Impose Plus ウィンドウの **Fiery Command WorkStation** メニューにあります。

Mac コンピューターでダークモードを使用するには、Fiery Command WorkStation の環境設定で設定します。ダークモードの詳細については、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

ユーザー環境設定について

ユーザー環境設定を選択するには、**編集** > **環境設定**を選択します。

一般で、以下のいずれかの操作を行います。

- PS を PDF に変換するためのデフォルト設定を選択します。
- Fiery Command WorkStation でマルチタスクを許可します。

面付けで次のいずれかの操作を行います。

- 面付けジョブ用のデフォルト仕上がりサイズを選択します。
- 面付けジョブ用のデフォルト拡大縮小単位を選択します。
- 面付けテンプレートパスを指定します。

フィニッシャーで、次のいずれかの操作を行います。

- フィニッシャープリセットを適用、作成および公開できるフィニッシャー統合ワークフローを有効にするには、**フィニッシャー統合を許可**チェックボックスを選択します。

  フィニッシャー統合を許可を選択すると、次の設定が有効になります。

  - **アクション**メニューの**フィニッシャープリセットの適用**オプション。
  - **設定**ウィンドウの**フィニッシャープリセット**ボタン。

  次の点に注意してください。

  - フィニッシャーが使用されていない場合は、このチェックボックスをオフにできます。
  - **フィニッシャー統合を許可**は、レジストレーションマークおよびバーコードの設定のみをサポートしている仕上げデバイスには適用されません。
  - 折り目、ミシン目、折りレイアウト設定などのフィニッシャープリセット、およびサポート対象の Duplo フィニッシャーとの双方向通信は、.ffp 形式で保存された FreeForm Create 2.0 以降のジョブを含む PDF/VT ジョブに適用できます。従来の FreeForm Create .ffc ジョブはサポート対象外です。PDF/VT および.ffp ジョブのレジストレーションマークとバーコードのサポートに変更はありません。
- **デバイス選択** - リストから、仕上げデバイスを選択します。

  選択した仕上げデバイスに応じて、次のタスクを 1 つまたは組み合わせて実行できます。

  - レジストレーションマークおよびバーコードの設定（49 ページ）
  - フィニッシャープリセットの適用（60 ページ）
  - フィニッシャープリセットの作成（63 ページ）

  メモ：タスクはデバイスに依存しており、選択した仕上げデバイスでサポートされている場合にのみこれらのタスクを実行できます。

  フィニッシャータブで設定を指定した後、アプリケーションを再起動して変更を適用します。

フィニッシャーを選択した場合は、次の追加設定を指定します。

- **PC コントローラーパス** - Duplo コントローラーコンピューターのインストールフォルダーへのパス。Fiery サーバーと Duplo PC コントローラーソフトウェアを搭載したコンピューターの間の接続をテストする場合は、**テスト**をクリックします。
- 利用可能なフィニッシャーモジュールセクションでは、フィニッシャーに応じて、次のいずれかを選択できます。

フィニッシャーモジュール	説明	対応フィニッシャー
CPM	十字ミシン目モジュール（CPM）は、横方向ミシン目または十字ミシン目、および横方向縦スジをサポートするためにフィニッシャーにインストールされたオプションモジュールです。ミシン目は給紙辺に対して平行に行われます。ジョブで横方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの CPM モジュールが使用可能である必要があります。横方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-618
CPM	十字ミシン目モジュール（CPM）は、横方向ミシン目または十字ミシン目をサポートするためにフィニッシャーにインストールされたオプションモジュールです。ミシン目は給紙辺に対して平行に行われます。ジョブで横方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの CPM モジュールが使用可能である必要があります。横方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-648
CRM	上折り目モジュール（CRM）を使用すると、標準の下折り目（谷折り）に加えて、シートの水平方向に上折り目（山折り）をつけることができます。	• Duplo DC-648
OSM	オプションのスリッターモジュール（OSM）を使用すると、標準のスリッターモジュールと合わせて、1 シートあたり最大 8 スリットを作成できます。	• Duplo DC-648
PFM	PFM（ミシン目モジュール－縦方向）モジュールでは、給紙辺に対して垂直方向でミシン目を入れます。ジョブで縦方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの PFM モジュールが使用可能である必要があります。 縦方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-618
RTM	ロータリーツールモジュール（RTM）は、印刷された出力の右側と左側で一度に 2 つのミシン目を入れることができる高度な縦方向ミシン目ユニットです。1 つのフィニッシャーに最大 2 つの RTM をインストールできます。	• Duplo DC-618 • Duplo DC-648

- **バーコード範囲** - 最小および最大のバーコード範囲。

キャッシュで、以下のいずれかの操作を行います:

- **キャッシュを有効にする**を選択して、 Command WorkStation が情報をローカルに保存できるようにします。
- キャッシュパスを指定します。

PS を PDF に変換するための Adobe Acrobat Distiller 設定の選択

Windows の場合、PostScript ファイルを PDF に変換するための Adobe Acrobat Distiller 設定を選択するには、**編集** > **環境設定** > **一般**を選択します。macOS の場合、環境設定は Fiery Impose Plus ウィンドウの **Fiery Command WorkStation** メニューにあります。

サーバー変換を使用（サポートされている場合）を選択すると、Fiery サーバーは、ユーザーのコンピューター上ではなく、サーバー上でジョブ変換を行います。また、使用する PDF 設定を選択することもできます。**デフォルトサーバー設定を使用する**を選択して、Fiery サーバーのデフォルトのプロファイルを使用します。

選択したジョブオプションファイルを使用を選択すると、ユーザーが任意のプロファイルを参照してアップロードすることができます。多くの場合、サーバー変換は、ファイルをクライアントコンピューターにダウンロードして変換して後でそのファイルを Fiery server に再アップロードするよりも高速です。ただし、このオプションは以下のような場合はお勧めできません。

- 変換に必要なライセンス許諾を受けたフォントがそのユーザーのコンピューターにしかインストールされていない。
- 新バージョンの Acrobat がリリースされている場合、Acrobat の新機能をサポートするには、新バージョンで変換を実行しなければならない。
- Fiery サーバーのリソースをファイル変換ではなく、処理のためだけに割り当てたい。
- ユーザーは、サーバーサイドの変換をサポートしない旧バージョンの Fiery サーバーに接続している。

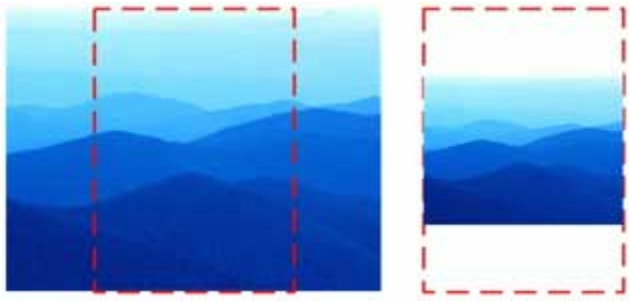
デフォルトの拡大縮小値

クロップボックスに合わせる仕上がりサイズでは、**面付けジョブのデフォルト拡大縮小値**で、**拡大縮小しない**または**用紙サイズにあわせる**のどちらかを選択できます。

ユーザー定義仕上がりサイズでは、**面付けジョブのデフォルト拡大縮小値**で、次の任意の設定を選択できます。

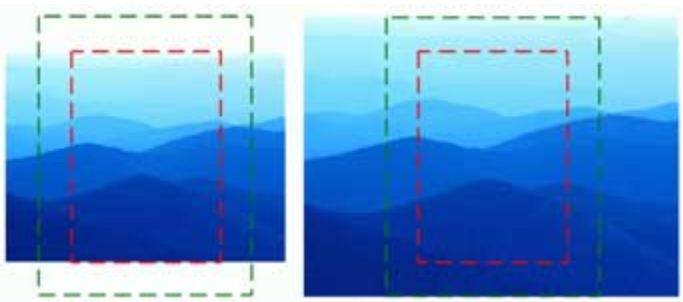
- **拡大縮小しない（100%）**
- **均等に仕上がりサイズに合わせる**
- **均等に仕上がりサイズをフィル**
- **均等にブリードサイズに合わせる**
- **均等にブリードサイズをフィル**

この図では、赤い破線が仕上がりサイズを、緑の破線がブリードサイズを表しています。



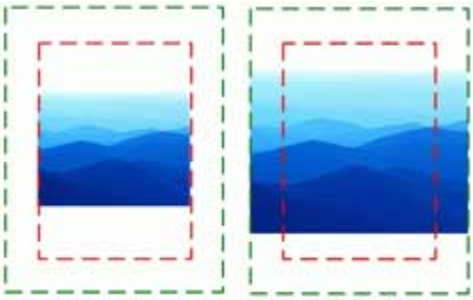
1 塗り

2 適合



1 仕上がりサイズをフィル

2 ブリードサイズをフィル



1 仕上がりサイズに合わせる

2 ブリードサイズに合わせる

面付けの拡大縮小と仕上がりサイズを設定するには

環境設定 > **Impose** の**面付けジョブのデフォルト拡大縮小値**では、Fiery Impose Plus 起動時のデフォルト拡大縮小率を設定します。**仕上がりサイズ**は PDF のクロップボックスまたはトリムボックスの設定に基づいています。

1 **仕上がりサイズ**では、**クロップボックスに合わせる**または**ユーザー定義**をクリックします。

- **クロップボックスに合わせる**は、デフォルトで従来からの Fiery Impose Plus ワークフローであり、PDF クロップボックスとの依存関係があります。
- **ユーザー定義**を使用すると、Impose によるトリムボックス設定（書類内に提示されている場合）の検出とそれらの設定のデフォルト仕上がりサイズとしての使用が可能になります。この設定には、書類サイズやクロップボックスとの依存関係はありません。

2 **面付けジョブのデフォルト拡大縮小値**では、デフォルトの拡大縮小値（12 ページ）に記載の拡大縮小設定を選択します。

フィニッシャーのデフォルトのデバイスプロファイルを設定する

フィニッシャーデバイスプロファイルを選択して、デフォルトバーコード形式とレジストレーションマークタイプを定義することができます。

3 桁のバーコードをサポートしている Duplo フィニッシャーでは、プログラム可能なジョブ数が 250 まで拡大されます。プログラム可能なジョブとは、ギャングアップレイアウトに基づくカスタマイズされた裁断、スリット、折りのプログラムです。

メモ：3 桁のバーコード用に設定されたフィニッシャーは、1～99 の範囲を 01～99 ではなく 001～099 として受け入れます。

1 Windows では、**編集** > **環境設定**を選択します。macOS の場合、環境設定は **Impose Plus** ウィンドウの **Fiery Command WorkStation** メニューにあります。

2 左側の列にある**フィニッシャー**タブをクリックします。

3 **フィニッシャー設定**セクションで、**デバイスの選択**リストからフィニッシャーのプロファイルを選択します。

メモ：バーコード形式を変更しても、以前に保存されたジョブや Impose Plus テンプレートは影響を受けません。

ユーザー定義面付けテンプレートの場所の変更

Fiery Impose Plus がユーザーによって作成された面付けテンプレートを格納する場所を変更できます。

Fiery Impose Plus が（Fiery Impose Plus を閉じて開き直した後に）ユーザーによって作成された面付けテンプレートを読み込む場所や、ユーザーが保存したときにテンプレートが格納される場所を管理します。

メモ：ストックされているテンプレートは非表示にできません。これは常に表示されます。

1 Windows では、**編集** > **環境設定**を選択します。macOS の場合、環境設定は **Impose Plus** ウィンドウの **Fiery Command WorkStation** メニューにあります。

2 左側の列から、**Impose Plus** を選択します。

3 **参照**をクリックし、適切なフォルダーに移動します。

4 **フォルダー選択**をクリックします。

シートの選択

シート表示のシート範囲編集ボックスでは、シート番号を入力して特定のシートに移動することができます。

PS から PDF に変換

Fiery Impose Plus または Fiery Preview のネイティブ形式は PDF です。このアプリケーションのいずれかで PostScript ファイルを開いた場合、**PS を PDF に変換**を使用すると、その他のアクションが実行される前に、ジョブが PDF に変換されます。開いた PostScript ジョブを保存すると、その保存したジョブの PDL が待機リストに PDF として表示されます。

PS を PDF に変換オプションをオンにするには、**環境設定**の**一般**タブに移動します。**PS を PDF に変換**を選択します。

サーバー変換を使用（サポートされている場合）が選択されているときは、**デフォルトサーバー設定を使用**または**選択した joboptions ファイルを使用**を選択できます。

メモ：Fiery Makeready ワークフロー内では、Adobe Distiller を使用して PostScript ファイルを PDF ファイルに変換できます。変換に Fiery サーバーを使用するデフォルトのオプションも引き続き利用可能です。

選択した joboptions ファイルを使用を選択した場合、**参照**をクリックすると、使用可能なファイルが表示されます。Adobe Distiller がクライアントにインストールされている場合は、Adobe Distiller ジョブオプションフォルダーにインストールされている任意のジョブオプションを選択できます。

macOS での PS から PDF への変換

Acrobat Distiller にアクセスして PS ファイルを PDF に変換する権限を Command WorkStation に付与する必要があります。

Fiery Impose Plus で初めて PS ファイルを開く場合は、ウィンドウで**許可**をクリックして、Acrobat Distiller で変換できるようにする権限を Command WorkStation に付与します。

許可を拒否すると、現在および今後の変換が失敗となります。変換を有効にするには、**セキュリティ & プライバシー**ウィンドウで変更する必要があります。

1 Fiery アプリケーションをすべて終了します。

2 Adobe Acrobat Distiller を終了します。

3 **システム環境設定** > **セキュリティとプライバシー** > **プライバシー** > **オートメーション**に移動します。

4 左下隅のロックアイコンをクリックし、パスワードを入力します。

5 アプリケーションリストで、**Fiery Command WorkStation.app** を探します。

6 **Acrobat Distiller.app** を選択して、Command WorkStation で Acrobat Distiller にアクセスできるようにします。

Fiery Impose Plus へのアクセス

Fiery Impose Plus には、Command WorkStation から直接アクセスすることも、選択したジョブの**ジョブのプロパティ**ウィンドウからアクセスすることもできます。

メモ：PostScript、Adobe PDF（ポータブルドキュメントフォーマット）または VDP ファイルを開くことはできますが、スプール状態になっている必要があります。

スプール済みまたは待機ジョブにする

ジョブを Fiery Impose Plus で開くには、そのジョブをスプール済みもしくは待機状態にする必要があります。

- 次のいずれかを行います。
  - 処理済みジョブまたは待機ジョブの場合は、**待機**リストからジョブを選択します。

    処理済みまたは待機ジョブを選択し、**アクション** > **プレビュー**を選択すると、ジョブは**ラスタープレビュー**ウィンドウで開きます。
  - 印刷済みジョブの場合は、**印刷済み**リストでジョブを選択し、**アクション** > **待機**をクリックします。

Command WorkStation から Fiery Impose Plus にアクセスするには

Command WorkStation から直接 Fiery Impose Plus のジョブを開くことができます。

1. Command WorkStation で、**待機**リスト内のスプール済みジョブを選択します。
2. **アクション**メニューをクリックします。
3. **Impose Plus** を選択します。

ジョブのプロパティから Fiery Impose Plus にアクセスするには

ジョブのプロパティから Fiery Impose Plus ウィンドウでジョブを開くと、ジョブは**シート表示**ウィンドウ内にワイヤーフレームで表示されます。

1. 次のいずれかの操作を行います。
   - **待機**リストにあるスプール済みジョブまたは待機ジョブをクリックします。
   - ホットフォルダーの場合、**Fiery Hot Folders コンソール**でホットフォルダーをクリックします。
2. **アクション** > **プロパティ**をクリックします。
3. **レイアウト** タブをクリックします。
4. **Impose テンプレート編集**をクリックします。

   テンプレートを編集してカスタムテンプレートを作成する場合は、Fiery サーバーが Fiery Impose Plus をサポートしていること、および適切なライセンスが必要です。

面付けレイアウト

Fiery Impose Plus には、ブックレットやパンフレットなど、一般的な面付け用の定義済みレイアウトが用意されています。また、カスタムレイアウトを作成して保存することもできます。

Fiery Impose Plus は、25 行 x 25 列のマトリックスで、1 枚のシート当り最高 625 ページのレイアウトをサポートします（両面印刷で 1,250 ページ）。接続している Fiery サーバーによっては、追加の制限が適用される場合があります。**ギャングアップ**印刷方法はすべての行列レイアウトをサポートします。とじ方法（**中とじ**、**複合中とじ**、**無線とじ**）は 1x2、2x1、2x2 レイアウトのみをサポートします。

以下の項目はすべて、ジョブのレイアウトに影響します。

両面印刷

プリンターによっては、両面印刷がサポートされていないか、実装が異なる場合があります。Fiery Impose Plus では、使用可能な印刷オプションに対応する両面印刷がサポートされています。

詳細は、Fiery Impose Plus での両面設定（41 ページ）を参照してください。

とじしろサイズ

Fiery Impose Plus は、ジョブの面付けを決定するレイアウトとシートサイズに従って、とじしろの位置を定義します。たとえば、無線とじのジョブには通常、中とじのジョブより大きいとじしろが必要です。背表紙をトリミングし、製本時に折り丁（複数枚）をのりづけする余白を確保するためです。

詳細は、とじしろの設定（34 ページ）を参照してください。

マージンの設定

マージン（面付け済みページのグループの外端とシートの端との間の領域）のサイズと位置は、ジョブに関連付けられたプリンターによって異なります。カスタムマージンは設定できません。ただし、**用紙サイズにあわせる**を使用すると、シートのコンテンツのサイズを調整することができます。**仕上がりサイズ**設定には、トリミングサイズに関してコンテンツを設定する各種オプションがあります。

面付けレイアウトについて

Fiery Impose Plus では、アプリケーション指定ファイルのページを印刷時に適切な順序および向きに整え、さまざまな綴じスタイルを適用して製本できます。

商業用のオフセットプリンターおよびウェブプレス機は、一枚のシートに複数のページの画像を配置することができる、幅の広いペーパーロールと大型印刷用プレートを使用します。プリンターでは一枚のプレスシートに最高 32 枚までのフルサイズページの画像を配置することができるので、これは一度に一枚のページを印刷するよりかなり処理が速くなります。Fiery Impose Plus を使用すると一枚のシートに複数のページの画像を配置しますが、サポートされている出力デバイスは従来の印刷プレス機ではなく、デジタルコピー機です。ジョブの画像が取得される用紙がシートと呼ばれます。

印刷されたシートは、つながったページを持つ、ブックレットに似たものに折られます。折り丁と呼ばれる、この折られたシートは、トリムされ、仕上げ時のサイズになります。

ページが最終的なブックレットの通常の読み取り順序と位置になるために、シートにおける順序と位置づけは、通常本を読むときの順序と異なるものである必要があります。仕上がったブックレットの天地が正しくなるよう、ページの何枚かはシート上で逆さまに印刷されます。また仕上がったブックレットでページ番号の順序が正しくなるよう、シート上では番号順に従わずに印刷する必要があります。

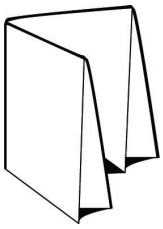
折り丁面付け見本の作成

折り丁の見本を作成すると、ページがシートにどのように面付けされるか、シートの裁断や折り方法を確認できます。

1 標準サイズの用紙一枚を、上下の端が合わさるように水平に半分に折ります。

2 左右の端が合わさるように用紙を垂直に折ります。

3 折り丁は垂直に折られた端を左に、そして水平に折られた端を上にして配置します。

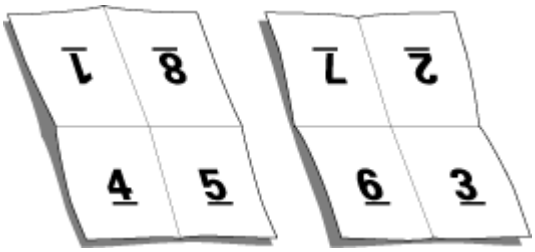


4 読んでいるときのように、折り丁のページをめくります。

a) 各ページに連続したページ番号を付けます。ページのおもてと裏の両方に番号を付け、表紙を 1 ページ目とし、裏表紙を 8 ページ目とします。

b) 各ページ番号に下線を引き、ページの天地がはっきりわかるようにします。

5 用紙を開きます。
次の図は用紙のおもて面と裏面を示しています。



これは 8 ページ折りのレイアウト見本です。次の点に注意してください。

- 折りによって、仕上がった時のブックレットの各ページのサイズにシートが分割されます。
- ページ番号は本を読む順に並んでいません。
- ページ番号が逆さまになっているページもあります。

Fiery Impose Plus での Adobe PDF Print Engine の処理

Fiery Impose Plus は、PostScript に変換せずに PDF ジョブを直接処理できる PDF ベースのプロセッサーである Adobe PDF Print Engine をサポートしています。

Command WorkStation の Configure で PDF Print Engine をオンにすると、ジョブのプロパティでジョブごとにこれをオフにできます。

ジョブのプロパティの面付けジョブには、次の制限が適用されます。

- **境界線を印刷**オプションがオンに設定された N-up ジョブ
- **ブックレット**レイアウトオプション内の 1-up 無線とじジョブ
- PDF/VT 以外の可変データファイル

サポートされていない機能を使用しているジョブは、PostScript インタープリターで処理されます。

Fiery FS600/600 Pro 以降では、PDF/VT ファイルの可変データジョブについて PDF プリントエンジン面付け処理をサポートしています。ただし以下の例外を除きます。

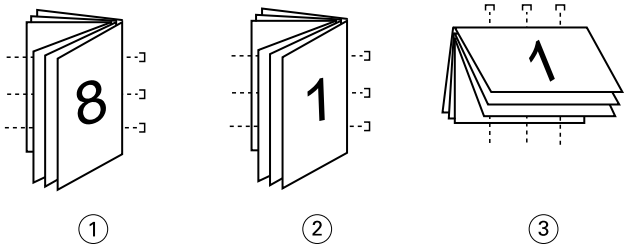
- 自動ページ回転
- ブランクページテキスト
- 表紙
- クリープ
- デモマーク
- Duplo とじタイプ
- 異なるページサイズ
- 異なるレコード長
- ページ範囲
- レコード範囲
- シート範囲
- サブセットの章
- サブセット仕上げ
- ウォーターマーク

製本方法

本のレイアウトは、シートをまとめて製本する方法も指定します。標準的な製本方法は、中とじ、無線とじ、複合中とじの 3 種類です。

とじ方法によって、ページがシートに配置される順序が変わります。面付け設定では、正しいレイアウトと最終出力を実現するため、仕上がりジョブの製本方法を指定する必要があります。

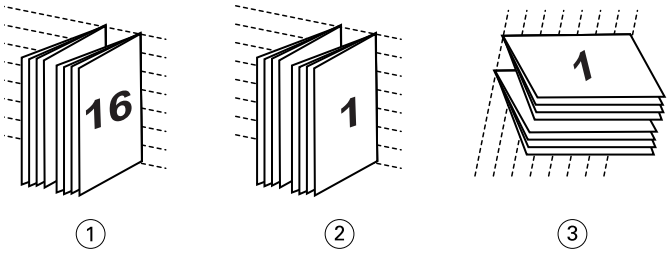
- **中とじ**：複数のシートをまとめて、共通の中央の折り目（冊子の背表紙）に沿ってホチキスで止めるか縫いとじることを中とじと言います。



番号	説明
1	中とじ（左）
2	中とじ（右）
3	中とじ（上）

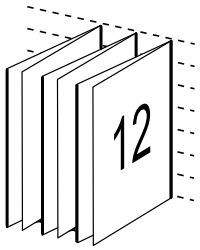
- **複合中とじ**:中とじと無線とじを組み合わせた製本方法です。折り丁部分がグループ単位で綴じられます。各グループはサブセットを形成します。無線とじと同様、サブセットを一枚一枚重ねてのりづけします。

Fiery Impose Plus でブックレットに複合中とじを指定すると、シートまたはサブセット設定により、まとめて折られたシートの枚数（サブセット）を指定できます。異なる用紙および異なる面付けレイアウトとシートサイズで印刷されるので、表紙は通常異なるジョブとして印刷されます。



番号	説明
1	複合中とじ（左）
2	複合中とじ（右）
3	複合中とじ（上）

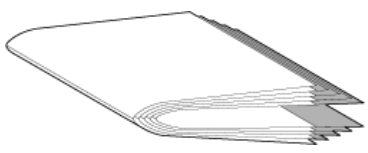
- **無線とじ**：別々に綴じられたページが印刷され、製本順に重ね合わされます。仕上がりページはトリムされ、一枚一枚重ねてのりづけされます。異なる用紙および異なる面付けレイアウトとシートサイズで印刷されるので、表紙は通常異なるジョブとして印刷されます。



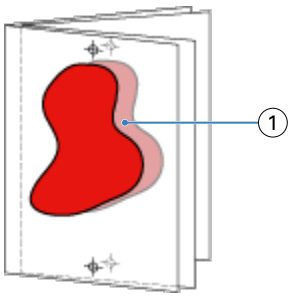
クリープ

クリープは、中とじのページにおけるずれ位置です。クリープは、内側のページほど背表紙から遠くなります。

すべての本やパンフレットでは、シートを折って、別のページ領域を作ります。シート自体もいくらか厚みがあるので、折るたびに各ページの端の位置がわずかにずれてしまいます。その結果として、中とじの中心にある折り目から一番離れたページの端は、中心に一番近い折り目からずれてしまいます。中とじのページ数が多くなるにつれ、このずれも大きくなります。このずれに対処するために、製本では仕上げた本の端を共通の端としてトリミングします。



製本したページをトリミングしても、問題の一部しか解決したことになりません。ページの端が動くので、その上に写された内容領域も動くからです。シートを複数回折ることにより生じる内容領域のずれは、クリープまたは製本クリープと呼ばれます。クリープにより、中とじの中心の折り目に近いページの内容領域は、ページの外側マージンの方向に移動したかのように見えます。



1 クリープ

中とじのシート数が多くなるにつれ、クリープは目立ち、中とじの中央の折り目から一番離れたページで一番目立ちます。そのため、考慮すべきクリープの量に影響を及ぼすので、本のレイアウトは中とじそれぞれのシート数を指定する必要があります。

ブランクページを挿入してレイアウトを調整するには

Fiery Impose Plus では、ブランクページを追加するだけでなく、選択した面付けレイアウトに必要な場所にブランクページを自動で挿入できます。

ブックレイアウトは、ジョブの合計ページ数に従ってページの配置を調整する必要があります。しかしながら、合計ページ数がレイアウトのページ数の偶数倍でない場合、折り丁（通常、ブランクページも含む）を 1 つ配置して、数の相違に対応することができます。

自動で挿入されたブランクページは、間接的ブランクページといいます。間接的ブランクページは、作業している元の書類の一部ではないので、間接的ブランクページを表示したいかを選択することができます。

行と**列**の設定により、7 枚のブランクページまで作成することができます（たとえば、2x2 のレイアウトの場合は、7 枚のブランクページを作成できます）。

面付けするジョブのプレビュー

Command WorkStation の**プレビュー**ウィンドウでは、シート寸法の表示や面付け済みジョブのシート間移動ができます。

Command WorkStation で面付けするジョブを選択するとき、ジョブは**プレビュー**ウィンドウで開きます。ジョブはシートのサムネイルとして**シート表示**ペインに表示され、内容が表示されるか、ワイヤーフレームで表示されます。

Command WorkStation でのジョブのプレビューについては、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

シート寸法の表示と測定

測定ツールを使用すると、一般的なシート寸法を表示したり、原点からページやシートの隅や端までの距離を決定したり、原点（参照点）を変更したりできます。

1 測定ツールアイコンをクリックします。

2 ページの周囲にカーソルを移動し、定義済みのホットスポットを表示します。

ホットスポットは水平または垂直の赤色破線で示されます。

3 **Ctrl** キー（Windows）または **Cmd** キー（macOS）を押し、ポイントアンドクリックしてページを選択します。

そのページの 9 つの参照点が表示されます。

4 ポイントアンドクリックして、希望する参照点を選択します。選択されると、参照点は赤い正方形で表示されます。

面付けされたジョブのシートを表示するには

ドラッグまたはシート番号を使用して、面付け済みジョブのシートを表示および移動できます。

- 次のいずれかを行います。
  - ドラッグツールを使用してドラッグし、ジョブのシートをスクロールします。
  - **シート**表示の下にある**シート**番号表示をクリックし、テキストフィールドにシート番号を入力します。

ジョブの面付け

Fiery Impose Plus では、面付け設定を変更、保存してカスタムテンプレートを作成できます。ワイヤーフレーム表示または**シート表示**ペインのサムネイルの内容表示で作業できます。

ジョブの面付けをするには、任意のテンプレートをインポートしたり面付け設定を指定したりすることもできます。面付け設定を指定する場合は、まず 3 つのワークフロー（製品インテント）から 1 つを選択します。

- **普通** – クリッピングと印刷マークを必要とする可能性がある 1-up 面付け用です。
- **ブックレット** – さまざまなタイプのブックレットを作成します。
- **ギャングアップ** – さまざまなギャングアップ丁付け形式を作成します。

Fiery サーバーシステムページは、管理、情報用途のためにのみ設計されています。設定、キャリブレーション、テストページ、ポストフライトレポート、PANTONE ブックおよびチャートなどのページは、面付けできません。

Fiery Impose Plus における Booklet Maker の設定

Fiery Impose Plus を使用すると、製本メーカー設定を持つジョブを開いて、面付けレイアウトをプレビューしたり変更したりできます。Fiery Impose Plus は製本メーカーのすべての設定を Fiery Impose Plus コマンドに変換およびマッピングします。『Fiery Command WorkStation のヘルプ』の『製本メーカーのヘルプ』を参照してください。

メモ：Fiery Impose Plus で編集した後のジョブは、製本メーカーでは編集できません。

面付けテンプレート

Fiery Impose PlusFiery Impose Plus でカスタムテンプレートを作成できます。

Fiery Impose Plus でカスタムテンプレートを作成するには、製品インテントの設定を変更します。製品インテントを選択して変更を加え、テンプレートの名前を入力して保存します。新しい設定はその場で適用されます。テンプレートを保存するには、Fiery Impose Plus ライセンスが必要です。

環境設定ウィンドウで、カスタムテンプレートの保存先にするフォルダーまたはディレクトリのパスを設定できます。この設定は、**面付け**タブの**面付けテンプレートパス**にあります。

カスタムテンプレートは、Fiery IQ クラウドに保存して同期し、Fiery アカウントでサインインしたどのクライアントコンピューターからでも使用することができます。

面付けテンプレートは、Hot Folders、ジョブのプロパティ、仮想プリンター、プリセットからも編集できます（Fiery Impose Plus ライセンスがある場合）。

メモ：ユーザー定義および**トリムボックスに合わせる**仕上がりサイズワークフローでは、PDF ソースファイルが必要です。PDF/VT 以外の PostScript ファイルおよびバリアブルデータ形式はサポートされていません。

ユーザー定義およびトリムボックスに合わせる仕上がりサイズ用テンプレートのサポート

カスタム面付けテンプレートは、**ユーザー定義**および**トリムボックスに合わせる**仕上がりサイズ設定を用いて作成できます。

こうしたテンプレートは、 Fiery Impose Plus、Hot Folders、Fiery システムソフトウェア FS500 Pro 以降を実行している Fiery サーバー、Fiery システムソフトウェア FS500 Pro 以降を実行している Fiery サーバーに（仮想プリンター、ジョブのプロパティ、サーバープリセットを介して）接続しているクライアントコンピューターなど、任意の送信方法またはワークフローで使用できます。

クロップボックスに合わせる仕上がりサイズワークフローを使用するテンプレートで**ギャングアップ**オプションに**反復 - 丁合い**設定が選択されている場合、または両面印刷用に**無線とじオプション**が選択されている場合は、Fiery Impose Plus ライセンスが必要です。

ワークフローを設定する場合は、クライアントコンピューターまたは Fiery FS500 Pro（Windows ベース）サーバーで Fiery Impose Plus ライセンスをアクティベートする必要があります。次の表は、**ユーザー定義**および**トリムボックスに合わせる**仕上がりサイズのワークフローを設定する場合に、Fiery Impose Plus ライセンスをアクティベートする必要がある場所を示しています。

表 1: ユーザー定義およびトリムボックスに合わせる仕上がりサイズを用いたテンプレートのためのライセンスアクティベーション

Fiery システムソフトウェア	ライセンスアクティベーション		サポートされるワークフロー			
	サーバーライセンス	クライアントのライセンス	ジョブのプロパティ	サーバープリセット	仮想プリンター	Hot Folders
FS500 Pro（Windows ベース）以降	○	○	サポート対象（1,3）	サポート対象（3）	サポート対象（2）	サポート対象（3）
	○	×	サポート対象（1）	サポート対象	サポート対象	サポートされていない

Fiery システムソフトウェア	ライセンスアクティベーション		サポートされるワークフロー			
	サーバーライセンス	クライアントのライセンス	ジョブのプロパティ	サーバープリセット	仮想プリンター	Hot Folders
	×	○	サポートされていない	サポートされていない	サポートされていない	サポート対象（3）
	×	×	サポートされていない	サポートされていない	サポートされていない	サポートされていない
			(1) **ユーザー定義**仕上がりサイズを使用して Fiery サーバーでこのテンプレートを作成する場合は、**ジョブのプロパティ**からアクセスできるように、**サーバープリセット**を作成する必要があります。 (2) **仮想プリンター**ワークフローは、Fiery サーバーで**ユーザー定義**仕上がりサイズを使用してこのテンプレートが作成されている場合にのみ利用できます。 (3) **ユーザー定義**仕上がりサイズに基づいた**ジョブのプロパティ**、**サーバープリセット**、または **Hot Folders** ワークフローがクライアントコンピューターで設定されている場合、そうしたワークフローへのアクセスはそのクライアントコンピューター上でのみ可能です。			

面付けテンプレートの適用

カスタムテンプレートは、 Fiery Impose Plus のジョブに適用できます。

1 **設定**ペインの上部にある**テンプレート**メニューをクリックします。

2 **テンプレートブラウザ**で使用するテンプレートの名前を選択します。

テンプレートを選択すると、新しい設定は即座に適用されます。

カスタム面付けテンプレートを保存するには

Fiery Impose Plus のライセンス版がある場合は、カスタムテンプレートを保存できます。

1 カスタムテンプレートを作成します。

2 **保存**アイコンをクリックします。

3 **テンプレートの保存**ウィンドウでテンプレート名を入力します。

カスタム面付けテンプレートを Fiery IQ クラウドに保存するには

カスタム面付けテンプレートを Fiery IQ クラウドに保存することができます。

開始する前に、Fiery アカウントにサインインします。カスタム面付けテンプレートを保存しようとする際、Fiery アカウントが会社アカウントに関連付けられているかどうかを示すメッセージが表示されます。Fiery アカウントの詳細については、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

Fiery IQ クラウドに保存されたカスタム面付けテンプレートは、Fiery Command WorkStation で同じ Fiery アカウントでサインインしていれば、どのクライアントコンピューターからでも使用することができます。ただし、Fiery IQ クラウドに保存されたテンプレートは、同じ会社アカウントに関連付けられている Fiery アカウントとは共有されません。

メモ：面付けテンプレートを Fiery IQ クラウドに同期するには、Fiery Impose Plus 用の期間有効なサブスクリプションライセンスが必要です。

1 カスタムテンプレートを作成します。

2 **保存**アイコンをクリックします。

3 **テンプレートの保存**ウィンドウでテンプレート名を入力します。

4 **Fiery IQ クラウドに保存**チェックボックスを選択します。

5 **OK** をクリックします。

テンプレートブラウザを開くと、Fiery IQ クラウドに保存されたテンプレートがクラウドアイコンと共に表示されます。

カスタムテンプレートの削除

カスタムテンプレートは削除できます。

1 削除したいテンプレートを**テンプレート**メニューから選択します。

2 **テンプレート削除**アイコンをクリックします。

メモ：別のテンプレートを選択するか新規面付け設定を指定するまで、ジョブには削除したテンプレート設定が残ります。

面付けされたジョブを保存するには

面付け済みのジョブは、通常の面付けジョブまたは統合 PDF として、Fiery またはローカルディスク上に保存できます。

ジョブを統合 PDF として保存すると、そのジョブまたはファイルを、プロセッサーに面付け機能がないこともあるさまざまなプリンターで印刷できます。統合 PDF は、遠隔での折り丁レベル校正のために顧客に簡単に送付できます。

詳細は、トリミングマークを設定するには（47 ページ）を参照してください。

メモ：Fiery Impose Plus では、VDP 面付けジョブを Adobe PDF 形式で保存することはできません。

ジョブを通常の面付けジョブとして保存するには

通常の面付けジョブとして保存する際には、ジョブを拡張子.dbp でジョブチケットとともに Fiery サーバーに保存します。その後、ジョブを再度開いて変更することができます。

1 **ファイル** > **保存**を選択します。

2 **場所**メニューでファイルの保存先を選択します。

3 **平坦化**チェックボックスのチェックを外します。

統合 PDF としてジョブを保存するには

ジョブを統合 PDF として保存すると、Fiery サーバーまたはローカルディスクに保存し直して、面付け済み PDF を今後の再印刷のためにアーカイブできます。

メモ：統合 PDF として保存する際、元の PDF ファイルを上書きしないように、ジョブに新しいファイル名を付ける場合があります。

Fiery Impose Plus では、統合 PDF にタブやブランクシートページは含まれませんが、暗黙的なブランクページが含まれています。ジョブを保存する際には、保存した場所や統合 PDF として保存したかどうかが保存用ウィンドウに記憶され、次回のジョブ保存時にはこのオプションが使用されます。

1 **ファイル** > **保存**を選択します。

2 **名前を付けて保存**フィールドにファイル名を入力します。

3 **場所**メニューでファイルの保存先を選択します。

4 （オプション）**設定**をクリックします。

5 （オプション）**PDF 出力設定**ウィンドウで次のいずれかを設定し、**OK** をクリックします。

回転で、次の操作を行います。

- **おもて - 90 度時計回り**、**180 度**、または **90 度反時計回り**を選択して、PDF 出力のおもてページを回転します。**なし**を選択すると、回転は適用されません。
- **裏 - 90 度時計回り**、**180 度**、または **90 度反時計回り**を選択して、PDF 出力の裏ページを回転します。**なし**を選択すると、回転は適用されません。

セキュリティ で、次の操作を行います。

- **方法 - パスワードで保護された編集** または **パスワードで保護された印刷と編集** を選択して、 **パスワード** フィールドと **確認** フィールドを有効にします。**なし**を選択すると、セキュリティ機能は適用されません。
- **パスワード**：希望のパスワードを入力します。
- **確認**：**パスワード**フィールドと同じパスワードを入力します。

6 **OK** をクリックします。

Fiery Impose Plus でのギャングアップ印刷

Fiery Impose Plus は、**ギャングアップ反復**、**ギャングアップ唯一**、**反復 - 丁合い**、および**唯一 - 丁合い**面付けのオプションを備えています。

Fiery Impose Plus はまた、折り、スリット、カット、クリースといった製本機能を使用して Duplo オフラインフィニッシャーで仕上げられる面付けジョブに対して、**Duplo-長辺給紙**および **Duplo-短辺給紙**オプションを備えています。

ギャングアップ反復

反復オプションを使用すると、ステップアンドリピート印刷が使用可能になります。ステップアンドリピートは、1 つの書類について複数の部数を印刷するときに最もよく使用されます。

ギャングアップ反復に合わせる機能は、シートサイズが最も適切に使用される方法でシートの内容を自動的にレイアウトし、**ギャングアップ反復** ワークフローを使用します。この機能を使用するには、**ギャングアップ反復に合わせる**アイコンを選択します。詳細については、ギャングアップ反復に合わせる（31 ページ）を参照してください。

ギャングアップ唯一

唯一オプションを使用すると、ジョブを 1 部印刷するケースでは多くの場合により適した配置になる方法でページを配置できます。このオプションは完全な丁合いを行いませんが（手動での丁合いが必要）、シートサイズを最適化すると同時に、印刷を 1 部に限定します。



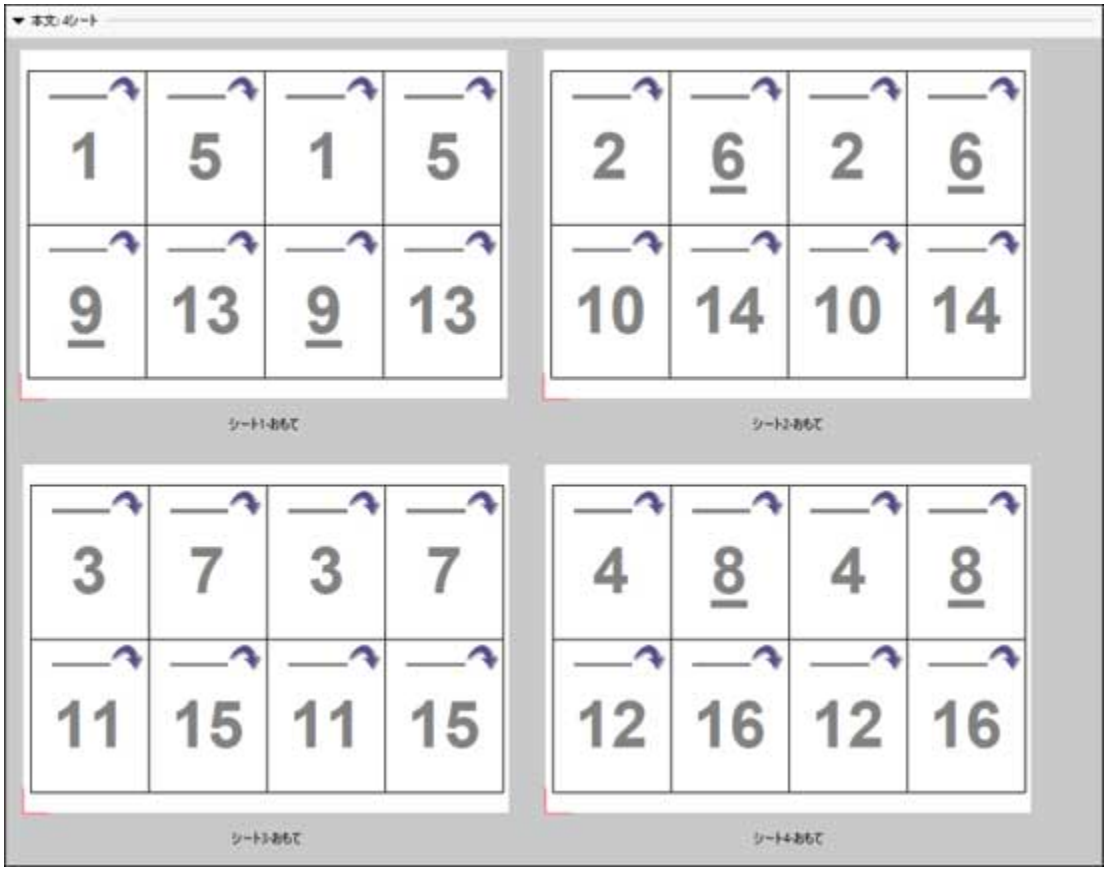
唯一 - 丁合い

唯一 - 丁合いを使用すると、シートを重ねて裁断するときに正しい順序になるようにページを配置できます。このオプションは、手動で丁合いする必要性を最小限にし、書類を 1 部印刷するときに最も適しています。



反復 - 丁合い

反復 - 丁合いオプションには、**反復**および**唯一 - 丁合い**面付けの機能が含まれています。**反復 - 丁合い**を使用すると、裁断と丁合いの設定に基づいて完成品を積み重ねるためのさまざまなレイアウトを作成できます。**製品行&列** オプションを使用して、完成品を積み重ねるためのレイアウトを定義できます。このオプションを使用すると、完成品の積み重ね方法を左から右、または上から下に定義できます。1 つの書類または書類の 1 つのコピーを複数作成できます。



Duplo-短辺給紙

Duplo-短辺給紙は、最終的な印刷済みシートを用紙の短辺から Duplo フィニッシャーに供給できるページ付け方向を設定します。列または行は最短シートエッジに対して垂直になります。

VDP および非 VDP PDF ジョブと PostScript ジョブが Duplo 仕上げを使用できます。シートに印刷された簡単なバーコードを読み取ることで、Duplo オフラインフィニッシャーを自動的に設定できます。このフィニッシャーは、シートが機器を通る際に、シート上のレジストレーションマークを読み取り、そのマークとの関連でシートを配置します。ギャングアップ面付けレイアウトに対して Duplo を指定する場合、**ページマーク**ウィンドウでレジストレーションおよびバーコードを指定できます。

Duplo-長辺給紙

ギャングアップ面付けレイアウトに対して **Duplo-長辺給紙**を設定すると、最終的な印刷済みシートを用紙の長辺から Duplo フィニッシャーに供給できるページ付け方向が作成されます。列または行は、最長シートエッジに対して垂直方向に配置されます。

Duplo 仕上げは、VDP および非 VDP PDF ジョブと PostScript ジョブに対して使用できます。シート上に印刷された簡単なバーコードを読み込むことで、Duplo オフラインフィニッシャーが自動設定されます。フィニッシャーは、シートが機器を通る際に、マークとの関連でシートに印刷されたレジストレーションマークを読み取り、シートを配置してスタックドリフトおよび画像シフトを補正します。

ギャングアップ面付けレイアウトに対して Duplo を指定する場合、**ページマーク**ウィンドウでレジストレーションおよびバーコードを指定できます。

上辺とじのギャングアップ

上辺とじのギャングアップを使用すると、両面ジョブの上辺とじで、シートの裏面にある個々のスロットまたはページを 180 度自動的に回転できます。

上辺とじのギャングアップ（スロットの回転）は、Fiery Impose Plus の既存のレイアウトスタイルでも機能します。スロットの回転テンプレートを設定しておけば、Hot Folders や仮想プリンターで使用することができます。

上辺とじのギャングアップは、次のギャングアップスタイルで使用できます。

- 繰り返す
- 唯一 – 丁合い
- 反復 – 丁合い
- Duplo-短辺給紙
- Duplo-長辺給紙

次の表に、上辺とじのギャングアップで必要な設定を示します。

ギャングアップスタイル	両面	レイアウトスタイル	スロットの回転
繰り返す	**オン**	次のいずれかのスタイル： • **標準** • **上-上** • **下-下** • **上-下** • **下-上**	○
唯一 - 丁合い	**オン**		○
反復 - 丁合い	**オン**		○
Duplo-短辺給紙	**オン**		○
Duplo-長辺給紙	**オン**		○

上辺とじのギャングアップジョブを作成する

1 Command WorkStation の待機リストにジョブをインポートします。

2 ジョブを選択し、**アクション**メニューから **Impose Plus** を選択するか、メニューを右クリックします。

3 **Impose Plus** ウィンドウの**設定**ペインで**ギャングアップ**を選択し、次のスタイルからどれか 1 つを選択します。

- **繰り返す**
- **唯一 - 丁合い**
- **反復 - 丁合い**
- **Duplo-短辺給紙**
- **Duplo-長辺給紙**

4 以下に従って設定を指定します。

- 仕上げエッジで**上**を選択します。
- **両面**オプションで**オン**を選択します。
- **レイアウトスタイル**オプションで**任意**を選択します。

メモ：上記の設定は必須です。必要に応じてその他の設定を指定できます。

設定の結果は**シート表示**ペインに表示されます。

動的トリムボックスの自動化

動的トリムボックス自動化は、ギャングアップレイアウト用の用紙サイズベースの自動的な面付けです。

ギャングアップレイアウトの作成後、このレイアウトをテンプレートとして保存してその他のジョブの自動レイアウトに使用することができます。こうしたテンプレートは、シートサイズごとに 1 つだけ必要です。ギャングアップジョブが届いた場合、この新しいジョブをシートサイズテンプレートに基づいてホットフォルダー上にドラッグできます。 Fiery Impose Plus により、そのジョブの最適なレイアウト（N-up および向き）が自動的に決定され、シート 1 枚あたりに印刷されるアイテム数を最大化できます。

こうした自動化されたワークフローは、**トリムボックスに合わせる**仕上がりサイズを使用しており、サイズの大きなシート（11x17 など）上での種類の異なる小さなアイテム（名刺、はがき、コンサートチケットなど）のレイアウトを動的に作成します。このワークフローは、ギャングアップジョブにのみ適用されます。

メモ：トリムボックスに合わせるワークフローや、ユーザー定義ワークフローで作成されたカスタム面付けテンプレートは、Hot Folders、仮想プリンター、プリセット、Command WorkStation ジョブのプロパティで使用できます。サポートされているワークフロー、必要なソフトウェアライセンス、接続先の Fiery サーバーで必要な Fiery システムソフトウェアのバージョンについては、ユーザー定義およびトリムボックスに合わせる仕上がりサイズ用テンプレートのサポート（23 ページ）を参照してください。

Hot Folders による自動ギャングアップ面付け

同じシートサイズに印刷するギャングアップ面付けの設定（たとえば、名刺やはがき用）を自動化します。これらの製品の仕上がりサイズに関わらず、1 つのホットフォルダーを使用することで設定とプロダクションの効率化を図ることができます。

このシートサイズを別の製品でもう一度使用する場合は、作成したテンプレートに基づいたホットフォルダー上に新しいジョブをドラッグできます。Fiery Impose Plus が新しいジョブ用に最適なレイアウトを自動作成します。

1 Fiery Impose Plus の**設定**ペインで、**ギャングアップ**を選択して**仕上がりサイズ**を**トリムボックスに合わせる**に設定することにより、ギャングアップレイアウトを作成します。

2 （オプション）とじしろの設定を指定するには、**とじしろ**オプションの**定義**をクリックします。

3 （オプション）トリミングマークを指定するには、**マーク**オプションの**定義**をクリックします。

4 **設定**ペインの上部にある保存アイコンをクリックします。

5 テンプレートの名前を入力し、通常の面付けジョブとして保存します。

6 Hot Folders を開きます。

7 **次へ**をクリックし、新しいホットフォルダーを作成します。

8 **ホットフォルダー設定**ウィンドウにホットフォルダーの名前を入力します。

9 **選択**、**接続**の順にクリックして Fiery サーバーに接続します。

10 **ジョブのプロパティ**オプションで**定義**を選択します。

11 **ジョブのプロパティ**ウィンドウで**レイアウト** > **面付けタブ**を選択します。

12 **テンプレート**オプション用に作成したテンプレートを選択します。

13 OK をクリックします。

14 **ホットフォルダー設定**ウィンドウのジョブ**アクション**オプションで、目的のアクションを選択します。

15 **OK** をクリックします。

ホットフォルダーはデスクトップに作成されます。

16 デスクトップ上で、サイズの小さな製品用の新しいジョブをホットフォルダーにドラッグします。

17 Fiery サーバーに移動します。ジョブが表示され、処理されます。

Fiery Impose Plus は、最大数のアイテムを印刷するのに最適なレイアウトを自動決定します。

ギャングアップ反復に合わせる

ギャングアップ反復に合わせるは、シートサイズが最も適切に使用される方法でシートの内容を自動的にレイアウトし、ギャングアップおよび反復ワークフローを利用します。

必要とする仕上がり製品数に必要な用紙の枚数は、Fiery Impose Plus が計算します。**ギャングアップ反復に合わせる**は、名刺など、反復する大量の同一内容をプリンターが出力するすべてのジョブに最適です。レイアウトは、**設定**ペインでの**仕上がりサイズ**の設定にかかわらず、**クロップボックスに合わせる**の仕上がりサイズまたは**ユーザー定義**の仕上がりサイズのいずれかを使用して計算されます。

Hot Folders およびジョブのプロパティでのギャングアップ反復に合わせるの使用

Fiery Impose Plus テンプレートを Hot Folders から編集する際に**ギャングアップ反復に合わせる**を使用するには、まず次の手順を実行する必要があります。

- シートサイズを指定します。
- 面付けジョブの仕上がりサイズを**ユーザー定義**または**クロップボックスに合わせる**に設定します。

こうした前提条件は、Fiery Impose Plus テンプレートを**ジョブのプロパティ**から編集する際にも適用されます。

「ギャングアップ反復に合わせる」を指定する

ギャングアップ反復ジョブの自動レイアウトを利用するには、**ギャングアップ反復に合わせる**オプションを選択できます。

インポートするジョブは、ギャングアップ反復レイアウトに適したジョブ（名刺など）である必要があります。

1 Command WorkStation の**待機**リストからジョブを選択し、Fiery Impose Plus を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから **Impose Plus** を選択します。
- ジョブを右クリックし、**Impose Plus** を選択します。

2 **Impose Plus** ウィンドウで、**アクション**メニューから**ギャングアップ反復に合わせる**を選択します。

ギャングアップ反復が製品インテントワークフローとして選択されている場合は、**設定**ペイン内の**ギャングアップ反復に合わせる**アイコンをクリックすることもできます。

3 次のオプションを設定します。

オプション	説明
仕上がり製品数	100 が自動的に入力されますが、設定を変更して増やしたり減らしたりできます。 **メモ：**仕上がり製品の最大数が 9999 を超過する場合、その数はコピーカウントに表示されません。この場合、コピーカウントには無効と表示されます。これを訂正するには、コピーカウントが 10,000 未満になるまでいずれかの値を変更します。
シート	サポートされる用紙のメニューから選択します。
レイアウト方向	**自動**、**縦**または**横**。
マージン	レイアウト外のスペースを調整して、そのスペースをレイアウト以外に使用できるようにします。マージンを使用可能にするには、切り替えボタンをクリックして緑色のチェックマーク表示にします。マージンを使用不可にするには、切り替えボタンをクリックして赤色の「X」が表示されるようにします。 マージンを使用可能：  マージンは使用不可：  • 使用しない：プリンタードライバーの印刷範囲外の余白が入力されます。 • 使用する（ゼロを入力）：ゼロを入力すると、**設定**ペインの**印刷可能範囲外の領域を使用する**チェックボックスの設定と同じ動作になります。 • 使用する（カスタム）：カスタムマージンを入力します。
余白	レイアウト内の隣り合う製品間の間隔のためのパラメータを、水平方向と垂直方向の両方について入力します。とじしろは、レイアウトの周りのスペースであるマージンとは異なるので注意してください。
廃棄数	機器によるクランプの跡や一番下のシートの汚れなど、廃棄の原因となることがある理由に対処するために出力する必要がある追加のシート数を指定します。
部数	仕上がり製品数分の量を出力するために必要なジョブの部数。この値は通知のみを目的としているため、上書きできません。 **メモ：**オリジナル原稿が 2 つの異なる名刺など複数の項目から成る場合があるため、この値が必ずしもシート数を反映しているとは限りません。

オプション	説明
超過数	仕上がり製品数のうち、必要な数を超えて出力される数。必要な仕上がり製品数ではシート全体が塗りつぶされない場合、超過数が発生します。Fiery Impose Plus は常にシートを塗りつぶすため、超過数が発生します。

ギャングアップ反復に合わせるウィンドウを閉じた後に、**設定**ペインで設定を上書きして設定を変更できます。ただし、そうすると、**設定**の**部数**オプションでコピーカウントを手動調整した場合を除き、印刷される仕上がり製品数が多くなったり少なくなったりする可能性があります。レイアウトの自動計算を利用する場合は、**ギャングアップ反復に合わせる**ウィンドウを再度開く必要があります。

Fiery Impose Plus でのギャングアップ設定の指定

ギャングアップスタイル、ページ順、とじしろサイズ、およびギャングアップ方法を指定できます。

指定したギャングアップスタイルとギャングアップ方法が一緒に使用できることを確認してください。可能な組み合せの詳細については、ギャングアップスタイルとギャングアップ方法の組み合わせ（36 ページ）を参照してください。

ギャングアップスタイルの設定

ギャングアップスタイルを設定できます。

1 **テンプレート**メニューで**ギャングアップ**を選択します。

2 テンプレートスタイルメニューで次のいずれかを選択します。

- **唯一**
- **繰り返す**
- **唯一 - 丁合い**
- **反復 - 丁合い**
- **Duplo-短辺給紙**
- **Duplo-長辺給紙**

ページ順の設定

ページ順オプションは、レイアウト内のページ付けの流れの方向を指定します。

メモ：ページ順オプションは、ギャングアップスタイルが**唯一**の場合のみ使用できます。

- **設定**ペインの**ページ順**セクションで、次のいずれかをクリックします。
  -  - 左から右に、水平にページを行ごとに順序付けし、上の行から始める。
  -  - 右から左に、水平にページを行ごとに順序付けし、上の行から始める。
  -  - 上から下に、垂直に列ごとに順序付けし、一番左の列から始める。
  -  - 上から下に、垂直に列ごとに順序付けし、一番右の列から始める。

とじしろの設定

ギャングアップジョブに対してとじしろを設定できます。とじしろは、製本などの仕上げオプションのためのスペースとして使用できる追加マージンです。

Fiery Impose Plus は、ジョブの面付けを決定するレイアウトとシートサイズに従って、とじしろの位置を定義します。たとえば、無線とじのジョブには通常、中とじのジョブより大きいとじしろが必要です。背表紙を裁断し、製本時に折り丁（複数枚）をのりづけする余白を確保するためです。

1 **とじしろ**オプションで**定義**をクリックします。

2 **とじしろ**ウィンドウで、レイアウトのそれぞれのとじしろに対して使用できるテキストフィールドを入力し、とじしろの寸法を設定します。

3 （オプション）すべてのとじしろに同じ測定値を適用するには、**すべて適用**をクリックします。

4 （オプション）**用紙サイズにあわせる」はとじしろ設定を使用する**チェックボックスを選択して、ページ内容の配置を制御します。**とじしろ**ダイアログボックスでとじしろを設定する前に**用紙サイズにあわせる**を選択していた場合は、**用紙サイズにあわせるはとじしろ設定を使用する**チェックボックスを使用して、ページ内容の配置を制御します。

   とじしろウィンドウを開く前に、Fiery Impose Plus **設定**ペインの拡大縮小オプションで**用紙サイズにあわせる**を選択すると、**用紙サイズにあわせる」はとじしろ設定を使用する**チェックボックスが利用できるようになります。

   - チェックボックスを選択しない（デフォルト設定） - **用紙サイズにあわせる**でとじしろサイズが計算に含まれません。とじしろサイズを変更してもページ内容は拡大縮小されず、代わりに内容の位置がずれます。
   - チェックボックスを選択する - **用紙サイズにあわせる**でとじしろサイズが計算に含まれます。とじしろサイズを変更すると、行と列およびとじしろの設定で定義されている領域内に収まるようにページ内容が拡大縮小されます。

としじろを使用する用紙サイズにあわせるオプション

Fiery Impose Plus では、としじろを使用する 2 つの異なる**用紙サイズにあわせる**動作が可能です。

元のページがシート上の使用可能な面付けスロット内に完全に収まらない場合は、**用紙サイズにあわせる**調整が必要です。面付けスロットのサイズは、シートサイズとページ上の面付けスロットの数（行数と列数の関数）によって定義されます。とじしろの設定は、面付けスロット間のスペースを定義します。

用紙サイズにあわせるを選択した場合は、**とじしろ**ウィンドウに**用紙サイズにあわせる」はとじしろ設定を使用する**チェックボックスが表示されます。チェックボックスの動作は次のとおりです。

- チェックボックスを選択しない（デフォルト設定） - **用紙サイズにあわせる**でとじしろサイズが計算に含まれません。とじしろサイズを変更してもページ内容は拡大縮小されず、代わりに内容の位置がずれます。
- チェックボックスを選択する - **用紙サイズにあわせる**でとじしろサイズが計算に含まれます。とじしろサイズを変更すると、行と列およびとじしろの設定で定義されている領域内に収まるようにページ内容が拡大縮小されます。

  メモ：選択した**用紙サイズにあわせる」はとじしろ設定を使用する**チェックボックスは、Fiery Impose Plus テンプレートには保存できません。チェックボックスをオンにして、設定を Fiery Impose Plus テンプレートとして保存すると、チェックボックスの選択は解除されます。

用紙サイズに合わせるを選択すると、とじしろのサイズの変更に合わせて自動的にスケーリングが変更されます。書類は引き続き使用可能な領域に収まるよう、サイズが変更されます。

次の点に注意してください。

- **用紙サイズにあわせる**設定では、とじしろやシートのサイズに関係なく、常に使用可能な面付けスロット内のページに収まります。
- 行と列またはシートサイズを変更すると、拡大縮小サイズに影響があります。とじしろサイズを変更すると、拡大縮小サイズに影響があります。**用紙サイズに合わせる**設定では、拡大ではなく縮小されます。

Fiery Impose Plus でのギャングアップ方法の設定

Fiery Impose Plus でのギャングアップ方法を選択できます。ギャングアップのスタイルによっては、使用できないギャングアップ方法もあります。

- **レイアウトスタイル**メニューで、次のギャングアップ方法のいずれかをクリックします。
  - **標準**
  - **上-上**
  - **下-下**
  - **上-下**
  - **下-上**

ギャングアップスタイルとギャングアップ方法の組み合わせ

どのギャングアップスタイルと方法を一緒に使用できるかは、ジョブ形式が PostScript、PDF、または VDP のいずれであるかによって異なります。

次の表は PostScript または PDF 形式の普通のジョブにおいて、どのギャングアップスタイルとどの方法を一緒に使用できるかを示しています。

ギャングアップスタイル	標準	上-上	下-下	上-下	下-上
繰り返す	○	○	○	○	○
唯一	○	○	○	○	○
唯一 – 丁合い	○	○	○	○	○
反復 – 丁合い	○	○	○	○	○

次の表は VDP ジョブにおいて、どのギャングアップスタイルとどの方法を一緒に使用できるかを示しています。

ギャングアップスタイル	標準	上-上	下-下	上-下	下-上
繰り返す	○	×	×	×	×
唯一	○	○	○	○	○
唯一 – 丁合い	○	○	○	○	○
反復 – 丁合い	○	○	○	○	○
複数レコード丁合い	○	○	○	○	○
カットスタック	○	○	○	○	○
Duplo-短辺給紙	○	×	×	×	×
Duplo-長辺給紙	○	×	×	×	×

バリアブルデータ印刷ギャングアップ反復ジョブでサポートされるレイアウトスタイルは、標準スタイルのみです。インポート機能またはプリンタードライバーにより Command WorkStation に送信された PostScript または PDF 形式の非バリアブルデータ印刷ジョブでは、すべてのレイアウトスタイルがサポートされます。Hot Folders により送信されたジョブに関しては、Fiery Impose Plus はバリアブルデータ印刷ジョブと非バリアブルデータ印刷ジョブとの区別をしないため、**標準**ではバリアブルデータ印刷ジョブと非バリアブルデータ印刷ジョブについて**ギャングアップ**反復スタイルのみが標準でサポートされます。

ギャングアップの行と列のレイアウト設定を指定する

ギャングアップの行数と列数を指定できます。

- 次のいずれかの操作を行って、**行と列のレイアウト**オプションで行と列を指定します。
  - 上下の矢印ボタンをクリックして、フィールド内の値を選択します。
  - 各フィールドに目的の値を入力します。

  メモ：行と列に指定できる最大値は 25 です。

反復製本仕上げ機能の指定

反復製本は、インライン仕上げではなくオフライン仕上げで、2 つの同一のブックレットを 1 枚のシートにステップおよび反復印刷できます。**反復製本**では、2 行 x 2 列のレイアウトが必要です。

1 製品インテントで**ブックレット**を選択します。

2 **行と列**オプションで **2 x 2 反復製本レイアウト**を選択します。

VDP ジョブでのギャングアップ面付け方法

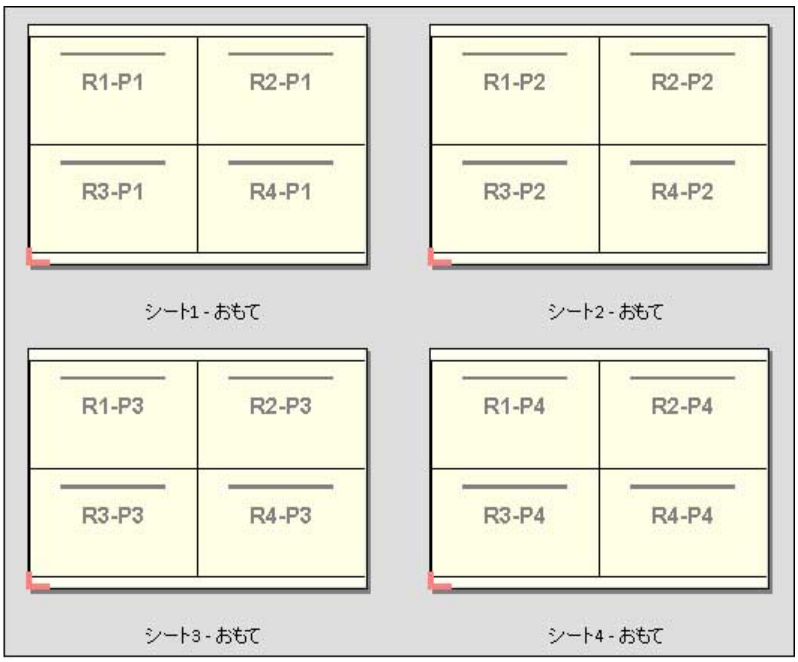
バリアブルデータ印刷（VDP）ジョブでは、単一レコードまたは複数レコードの面付け方法を使用できます。

- **単一レコード面付け**では、**ギャングアップ反復**、**ギャングアップ唯一**、**唯一丁合い**、または**反復 - 丁合い**を使用できます。Fiery Impose Plus でのギャングアップ印刷（27 ページ）を参照してください。
- **複数レコード面付け**では、**複数レコード丁合い**、**カットスタック**、または**スタックサイズ**を使用できます。

複数レコード丁合い

複数レコード丁合いでは、異なるレコードのページが連続してシート面に配置されます。各レコードの 1 ページ目が全レコード分、シート面に配置されます。次に新しいシートになり、各レコードの 2 ページ目が全レコード分配置されます。この処理はすべてのページが配置されるまで繰り返されます。

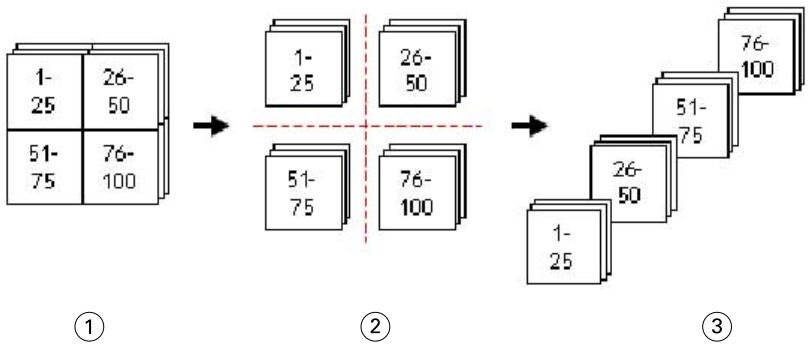
次のプレビューに、4 つのレコードを含む VDP ジョブに適用された、2x2 の片面印刷の**複数レコード丁合い**レイアウトを示します。レコードはそれぞれページが 4 枚あります。R はレコードを表し、P はページを表しています。たとえば、R1 P1 はレコード 1 の 1 ページ目です。



カットスタック

カットスタックは、各ページを重ねて裁断でき、また裁断後に積み重ねたものを並べ替えずに済むように、ページをシート面に配置します。**カットスタック**レイアウトは、**スタックサイズ**オプションとともに使用できます。

次の例に、100 件のレコードを含む VDP ジョブに適用された、2x2 の片面印刷の**カットスタック**レイアウトを示します。レコードは 1 つのページから成ります。シートがスタックされ、カットおよび再度スタックされると、レコードは順番に配置されます。



1 印刷

2 切り取り

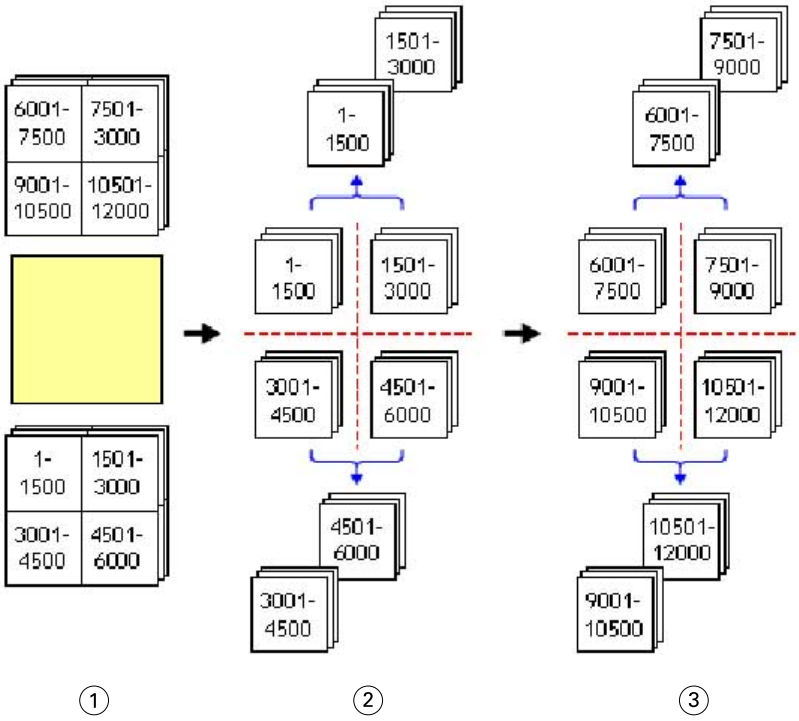
3 スタック

スタックサイズ

スタックサイズによって大きな VDP ジョブがより小さなバッチに分割され、その結果**カットスタック**ワークフローが簡素化されます。これにより、スタックされるシート数を標準的な裁断機が対応できる量に制限できます。それぞれのバッチは**カットスタック**レイアウトを使用して個別に面付けされ、バッチ間にはセパレータ

ーシートが配置されます。(**スタックサイズ**オプションは、**カットスタック**レイアウトを選択した場合にのみ利用できます)。

次の例に、それぞれ 1 ページを構成する 12,000 件のレコードを含む VDP ジョブに適用された、2x2 の片面印刷の**カットスタック**レイアウトを示します。この結果、シートは 3,000 枚になります。**スタックサイズ**オプションは、1 つのバッチあたり 1,500 シートに設定されています。結果として生じたレイアウトは 2 つのバッチから成り、各バッチは裁断、並べ替え、スタック、パッキングを相前後して実行できます。



1 印刷

2 最初の積み重ねの裁断とパッキング

3 2 度目の積み重ねの裁断とパッキング

面付け設定

Fiery Impose Plus では、仕上がりサイズ、シートサイズ、両面印刷、拡大縮小、表紙の用紙、レイアウト方向、ブリード、ページマークなどの印刷ジョブオプションを設定できます。

設定ペインに表示される設定は、選択した製品インテントによって決まります。製品インテントワークフローの選択（39 ページ）を参照してください。

製品インテントワークフローの選択

Fiery Impose Plus では、さまざまな種類のワークフロー（製品インテント）がサポートされています。製品インテントを選択すると、**設定**ペインにその製品インテントの関連オプションが表示されます。

1 テンプレートで、**設定**ペインの上部にある製品インテントボックスの矢印をクリックします。

2 次のいずれかの製品インテントを選択します。

- **正常**
- **ブックレット**
- **ギャングアップ**

3 任意の製品インテントのスタイルと方法を選択します。

例えば、製品インテントで**ブックレット**を選択した場合は、とじ方法ととじる側を選択します。製品インテントで**ギャングアップ**を選択した場合は、ギャングアップオプションととじる側を選択します。

4 **仕上がりサイズ**メニューが表示された場合は、仕上がりサイズを選択します。

普通および**ブックレット**インテントには、**仕上がりサイズ**設定が用意されています。この設定を使用すると、クロップボックスの仕上がりサイズワークフローとユーザー定義の仕上がりサイズワークフローのどちらかを選択できます。**ギャングアップ**インテントには、**仕上がりサイズ**オプションである**トリムボックスに合わせる**設定が含まれます。

Fiery Impose Plus の仕上がりサイズオプション

仕上がりサイズでは、印刷が終わり、トリミング、折り、製本などの仕上げ処理を適用した後の最終製品のサイズを設定します。

デフォルトのワークフローは**クロップボックスに合わせる**になっています。

使用できるワークフローは次のとおりです。

- **クロップボックスに合わせる** - ジョブのレイアウトは Adobe PDF クロップボックスが基準になります。選択した書類のページ内容に合わせてブリードサイズを手動で設定する必要があります。この仕上がりサイズワークフローでは、ブリードサイズをクロップボックスのサイズから差し引いて、最終製品の仕上がりサイズを手動で見積もる必要があります。
- **ユーザー定義** - 最終仕上がりサイズとブリードサイズが PDF ジョブに対して自動的に検出されますが、ユーザーはどちらの設定も変更できます。ページの内容は用紙の中央に配置されます。**ユーザー定義**の仕上がりサイズワークフローでの仕上がりサイズは、ブリード、クロップボックス、書類ページサイズに依存しない静的な値です。元のブリードサイズは自動的に検出されます。
- **トリムボックスに合わせる**：サイズの小さな異なるアイテム（名刺、はがき、コンサートチケットなど）をサイズの大きなシート（11 x 17 など）上に配置するレイアウトを自動的に作成する、自動化されたワークフローです。ユーザーはシートサイズごとにホットフォルダーを 1 つ作成し、サイズの小さな異なるアイテムをそこに入れることができます。自動方向設定により、印刷できるアイテムの数が最大になるように最適な向きが決定されます。このワークフローは、ギャングアップジョブにのみ適用されます。

  仕上がりサイズを**トリムボックスに合わせる**に変更すると、自動的にレイアウト方向は**自動**に設定されます。**自動**の場合は、縦と横の双方について印刷できるアイテムの数が計算され、シートの領域を最大化する向きが使用されます。たとえば、3.5 x 2 インチの名刺を 12 x 18 のシートに印刷する場合、縦向きでは名刺を 24 枚（8 行 x 3 列）、横向きでは名刺を 25 枚（5 行 x 5 列）の配置が可能です。**自動**設定では、より多くの名刺を作成できる横向きが選択されます。**自動**は、その他の仕上がりサイズワークフローでは使用できません。

最終仕上がりサイズに入力できる最小寸法は 0.25 インチです。最大値は、プリンターでサポートされている用紙サイズにより異なります。

ユーザー定義の仕上がりサイズのメリット

ユーザー定義の仕上がりサイズは、オリジナルの内容で指定されたトリムサイズに基づきます。仕上がりサイズを指定すると、Fiery Impose Plus が各シートの中央にページ内容を自動的に配置します。

面付けされるジョブの内容の配置がページごとに異なり、それぞれが異なるクロップサイズの場合、ユーザー定義の仕上がりサイズを選択すると、Adobe PDF で設定されたトリムサイズを Fiery Impose Plus で自動検出できます。

クロップボックスの仕上がりサイズワークフローの場合、ユーザーは、ブリードを理解し、何らかの操作によってページ内容を面付けレイアウトに正しく配置する必要があります。

トリムボックスに合わせる仕上がりサイズのメリット

トリムボックスに合わせる仕上がりサイズのメリット（特に、Hot Folders、仮想プリンター、プリセットなどの自動ワークフローの場合）は、PDF 画像のサイズを変更しても行と列の数が自動的に再計算されることです。自動レイアウト方向により、製品（名刺など）の数が最大になります。Fiery Impose Plus 内のワークフロー設定時にシートサイズを変更した場合は、レイアウトが更新されます。

Fiery Impose Plus でのシートサイズの設定

デフォルトの**シート**設定は、すべてのシート（折り丁）に適用され、意図する面付けレイアウトの寸法を定義します。サブストレートカタログでは、特殊シートのサイズ割当を定義できます。

1 **シート**メニューで用紙シートのサイズを選択します。

シートオプションメニューに目的のサイズを直接入力することもできます。

2 **編集**をクリックして、重量、カラーモードなど、その他の用紙設定を指定します。

3 メディアカタログまたは Substrate Catalog がサポートされている場合は、**メディアカタログから選択**または**メディア**メニューから **Substrate Catalog から選択**を選択します。

4 サブストレートカタログがサポートされている場合は、**メディア**メニューから**サブストレートカタログから選択**を選択します。

Fiery Impose Plus での両面設定

両面では、シートの両面の内容の処理方法を設定します。**両面**オプションは、接続する Fiery サーバーによって異なります。

Fiery Impose Plus では、選択されたとじ方法に両面設定が自動的に適用されます。Fiery Impose Plus の**両面印刷**設定は Command WorkStation **ジョブプロパティ**で実行された**両面印刷**設定を上書きします。

無線とじは、両面印刷で利用可能なオプションです。**無線とじ**を選択すると、プリンタに給紙された用紙は、用紙の片側に印刷した後に上下逆になります。**シート表示**ペインでは、用紙の裏面が 180 度回転します。シートを上下逆にすると、グリッパーは用紙のグリップエッジを変更します。**無線とじ**オプションは、**両面**オプションを**両面無線とじ**に設定した場合にのみ有効になります。

- 次のいずれかを選択します。
  - **片面**：両面印刷がオフになり、片面印刷が使用されます。
  - **両面シートワイズ**：**無線とじ**オプションをオフにし、両面印刷ジョブの裏面を水平に 180 度回転させます。

Fiery Impose Plus における拡大縮小設定

拡大縮小設定では、指定量だけページが拡大縮小されます。

普通の製品インテントでは、**拡大縮小**設定はジョブのすべてのページに適用されます。**ブックレット**および**ギャングアップ**の製品インテントでは、拡大縮小をシート特定のスロットに適用できます。シート上のスロット数は、**行**と**列**の値により異なります。スロットのサイズは、シートの最大画像領域をスロット数で割ったものに等しくなります。

ユーザー定義の仕上がりサイズワークフローには、**クロップボックスの仕上がりサイズ**ワークフローよりも多くの拡大縮小オプションがあります。

印刷可能範囲外の領域を使用するオプションでは、印刷ジョブを面付けするための選択シートの実際の端から端までを使用します。これは、さまざまなやプレスで使用する可能性のある、カスタムテンプレートを作成する際に役に立ちます。

このオプションが選択されていない場合、Fiery Impose Plus はプリンターに従い、最終印刷済みシートの画像可能領域により、面付けされたジョブの位置と倍率を決定します。この制約によって、カスタムテンプレートが他のプリンターに使用されることを防ぎます。

メモ：行と列の値は**拡大縮小**設定と相互関連しています。内容がシートの端を越える値を選択すると、Fiery Impose Plus では警告が表示されます。

拡大縮小設定の指定

仕上がりサイズオプションにデフォルト設定の**クロップボックスに合わせる**を使用して、拡大縮小、用紙サイズに合わせる、または拡大縮小しないを指定できます。**ユーザー定義**の仕上がりサイズワークフローではより多くの拡大縮小オプションが利用でき、仕上がりサイズまたはブリードの静的境界線にページ画像を合わせたりフィルしたりすることができます。

1. **拡大縮小**メニューから設定を選択します。
2. **カスタム**を選択した場合、テキストフィールドに**拡大縮小値**を入力します。
3. 印刷ジョブを面付けするために選択したシート実寸の端から端までを使用するには、**印刷可能範囲外の領域を使用する**チェックボックスを選択します。

表紙の用紙の設定

表紙の有無およびその設定を指定できます。

1. 表紙を追加するには、**表紙**チェックボックスを選択します。
2. **表紙の用紙**ウィンドウで、おもて/裏表紙両方に同じ設定を適用するかどうかを選択し、おもて表紙のみの設定を指定するか、またはおもて/うら表紙を別々に指定します。

3 **OK** をクリックして、設定を保存します。

定義をクリックすると、**表紙の用紙**ウィンドウが再度開き、設定を変更できます。

レイアウト方向の設定

シートの向きを指定するには、**設定**ペインの**レイアウト方向**メニューを使用します。

1 **レイアウト方向**メニューで、次のいずれかを選択します。

- **縦**
- **横**

2 製本スタイルが**複合中とじ**の場合は、**サブセットサイズ**オプション（各サブセット内のシート数）を指定します。

最後のサブセットのシート数は固定の数値ではなく、Fiery Impose Plus により、ジョブの実際のページ数に従って必要なシート数が調整されます。**サブセットサイズ**オプションの**シート/サブセット**のデフォルト設定は **2** で、設定可能な最大値は **15** です。

Fiery Impose Plus でのワークフローごとのブリード

Fiery Impose Plus の適用方法は、設定するワークフローによって異なります。

- **クロップボックス**仕上がりサイズワークフローにおいて、**ブリード**オプションはトンボ（トリミングマーク）を指定した量だけ画像に向かって移動し、印刷された領域がトリミングされたシートの端を超えて拡張するようにします。ページ内容の左または右（水平）の端およびページ内容の上または下（垂直）の端に対して、異なるブリード量を指定することができます。
- **ユーザー定義**の仕上がりサイズワークフローでは、**ブリード**オプションは仕上がりサイズの境界線を越えて表示されるページ内容の量を表します。トンボ（トリミングマーク）は自動的に調整され、仕上がりサイズの端に揃ったままとなります。Fiery Impose Plus でジョブが開かれ、**仕上がりサイズ**オプションで**ユーザー定義**設定が選択されている場合、仕上がりサイズとブリードの寸法が自動的に入力されますが、この設定は変更することができます。

ブリードの設定

Fiery Impose Plus では、水平および垂直のブリードを設定できます。

- 次のいずれかを行います。
  - ジョブに対して別々の水平および垂直ブリード値を指定するには、適切なフィールドに 0 ～ 720 ポイント、0 ～ 10 インチ、または 0 ～ 254 ミリの値を入力します。
  - ページ内容の 4 つのすべての端に対して同じブリード値を適用するには、**両方に適用**チェックボックスをクリックし、値を入力します。

レイアウトのオフセット

レイアウトオフセットオプションを使用すると、シートの 4 辺すべてについて、シートの端とレイアウトトリムボックスとの長さを指定できます。**レイアウトオフセット**オプションでは、レイアウト範囲のサイズを変更せずに、シート上のレイアウトの位置を変更することができます。

メモ：レイアウトオフセットウィンドウで指定したオフセット値は、ジョブ内のすべてのシートに適用されます。

メモ：ページマークウィンドウの**レジストレーションマークおよびバーコード**タブ内にある**レイアウトオフセット**オプションは、**設定**ペインの**レイアウトオフセット**と一緒に使用することはできません。**設定**ペインでオフセット値を指定すると、Fiery Impose Plus では**ページマーク**ウィンドウの**レイアウトオフセット**オプションが自動的に無効になります。

1 Fiery Impose Plus の**設定**ペインで、**レイアウトオフセット**オプションの**定義**をクリックします。

2 **レイアウトオフセット**ウィンドウで、オフセット値を指定します。

3 次のいずれかを行います。

- 指定した値が正しい場合は、**OK** をクリックして変更内容を適用します。
- 指定した値が正しくない場合は、**リセット**クリックして変更内容を破棄します。
- レイアウトのオフセットを指定しない場合は、**キャンセル**をクリックします。

4 適用したオフセット値が間違っているためにその値を取り消す場合は、**編集** > **レイアウトオフセットを取り消す**を選択します。

マージンを設定する

マージンは、シートの端とレイアウトの端との長さです。シートに希望するマージンを設定して、どのシートの辺にも十分な間隔が空くようにすることができます。

カスタムマージンを使用すると、シートの 4 つの辺すべてに異なるマージン値を指定し、フィニッシャーのグリッパーでシートを保持するための追加スペースをシートで使用できます。

- Fiery Impose Plus では、**設定**ウィンドウの**マージン**オプションで次のいずれかを選択します。
  - **デフォルト**：マージンをデフォルト値に自動的に設定します。デフォルト値は印刷可能範囲外の領域に対応しています。

    メモ： シートの端とレイアウトの端の間の使用可能なスペースが、印刷可能範囲外の領域です。
  - **印刷可能範囲外の領域を使用する**：マージンを自動的にゼロに設定します。このオプションを選択すると、レイアウトの端がシートの端と一致して、印刷可能範囲外の領域が使用されるため、シートの端まで印刷できるようになります。すべてのマージンにはゼロ値が表示されます。

    メモ：シートの印刷可能範囲外の領域はデバイスに依存する値です。**印刷可能範囲外の領域を使用する**オプションを選択すると、最終的な印刷結果でクリッピングが行われる可能性があります。
  - **カスタム**：マージンを希望する値に手動で設定できます。このオプションを選択すると、左、右、上、下のマージン値を手動で指定できます。**カスタム**オプションでは、フィニッシャー関連の要件に対応できるように、レイアウトの周りに十分なスペースを残すことができます。

    メモ：指定したマージンは、ジョブ内のすべてのページに適用されます。

Fiery Impose Plus でページマークを設定するには

Fiery Impose Plus でページマークを設定できます。また、マークおよびページ情報の各要素をオン/オフすることもできます。

レイアウト上の折りの位置は、折り目と呼ばれる点線で定義されます。また、裁断の位置はトンボ（トリミングマーク）と呼ばれる実線で定義されます。特殊なマークによって、マージン（ページ内容領域周囲のスペース）のサイズと場所、とじしろ（ページ間のスペース）およびブリードも定義されます。ブリードとは、トンボ（トリミングマーク）の外まで内容が拡張された部分で、印刷領域がトリミングしたページの端まで拡張されるようにするために使用されます。標準的なスタイルのトンボ（トリミングマーク）または日本式のマークから選択できます。

- ジョブのすべてのシートにトリミング、折り、およびジョブ情報を追加するには、ページマークを使用します。ページマークオプションは、ジョブ全体にページマークを付けます。レイアウトでは、関連するページマークのみが表示されます。シートの折りを必要としないレイアウトの場合、折りマークは選択しても表示されません。
- トリミングマーク、折りマーク、およびページ情報の各要素をオン/オフするには、**ページマーク**ウィンドウを使用します。

メモ：ユーザー定義の仕上がりサイズワークフローでは、ページマークが常に仕上がりサイズの端に揃えられます。

ページマークメニューにあるマークの名前付きセットについて

マークの名前付きセットは、ローカルコンピューターに保存できます。また、特定のジョブに対するマークの固有の設定にできます。

ページマークメニューの名前には、次のものがあります。

- **なし** - マークが適用されません。
- マークのセットをローカルコンピューターに保存する際に使用した名前のリスト

  メモ：デフォルトでは、名前は英数字の昇順でソートされます。
- **カスタム** - ジョブに固有のマーク、またはローカルコンピューターに名前付きセットとして保存されていないマークです。

マークの名前付きセット（たとえば「ブルーマーク」とします）を持つジョブを開き、**ページマーク**メニューを使用してその設定のいずれかを変更した場合、変更されたマークのセットは「ブルーマーク」という名前ではなくなり、「カスタム」という名前になります。この変更されたマークのセットを保存する場合は、このセットに新しい名前を付けることができます。「ブルーマーク」という名前を付けようとすると、Fiery Impose Plus は「ブルーマーク」という名前の既存のセットを上書きするかどうかを尋ねます。

ジョブを保存した後に「ブルーマーク」の設定を変更した場合、そのジョブを次に開く際には、マークのセットの名前が「カスタム」と表示されます。ジョブを保存した後にマークの名前付きセットを削除した場合、そのジョブを次に開く際には、マークのセットの名前が「カスタム」と表示されますが、ジョブ内のその設定は失われていません。

メモ：作成したマークの名前付きセットはローカルコンピューターに保存されています。マークのセットの名前は、ユーザーのコンピューター間での受け渡しがされません。たとえば、ローカルコンピューターで「ブルーマーク」というマークのセットを作成してジョブに割り当てることができます。別のユーザーが自分のローカルコンピューターでそのジョブを開きます。そのユーザーが自分のコンピューターでやはり「ブルーマーク」というマークのセットを作成しても、最初のユーザーのジョブにあるマークのセットは、2 番目のユーザーの**ページマーク**メニューにこれまでどおり「カスタム」と表示されます。

マークのセットの名前付け、保存、再利用

スタイル、横の長さ、縦の長さ、トンボタイプ、トンボ幅、トンボカラーなど、マーク設定の適用、マークのセットの名前付け、保存、再利用を実行できます。

1 **ページマーク**メニューで**定義**を選択します。

2 表示される**ページマーク**ウィンドウで、ページマークまたはカスタムオブジェクトをシートレイアウトに追加し、**保存**をクリックします。

マークのセットに名前を付けるように求めるメッセージが表示されます。

3 マークのセットに名前を付けます。この名前は、今後**マーク**メニューに表示され、今後のジョブでマークの名前付きセットを使用できるようになります。

4 **ページマーク**ウィンドウで **OK** をクリックして、現在のジョブにマークのセットを適用します。

マークのセットを削除するには、**ページマーク**メニューから削除するセットを選択し、ゴミ箱アイコンをクリックします。

印刷マークの定義

印刷マークを設定するには、**ページマーク**ウィンドウを使用します。

1 **設定**ペインで、**ページマーク**メニューをクリックし、**定義**を選択します。

2 **トリム**、**折り**、**ページ情報**、**ブランクページテキスト**、**レジストレーションページマークとバーコード**の各タブを使用して設定を指定します。

メモ：VDP ジョブの**ページ情報**には、VDP 以外のジョブとは異なる情報が表示されます。

トリミングマークを設定するには

トリムタブを使用してトリミングマークを設定します。

1 **トリム**タブをクリックします。

2 **トリミングマーク印刷**チェックボックスを選択します。

3 **スタイル**メニューから以下を選択します。

- **標準**：標準的な西洋式の形式のマーク（コーナーのシングルマーク）を印刷します。これはデフォルト設定です。
- **日本式**：日本式の形式のマーク（コーナーおよびページの各サイドの中央のマーク）。

  ブリード値が 0 の場合、日本式のマークは標準スタイルに似た 1 本のラインになります。ブリード値を設定すると、トリムとブリードを示す 2 つのコーナーマークが表示されます。

4 印刷されるトリミングマークについて次の操作を実行します。

- マークの水平方向および垂直方向の長さ（1～216 ポイント）を設定します。
- **トンボタイプ**を点線または実線に設定します。
- **トンボ幅**を 1/4～3 ポイントの範囲で設定します。
- **トンボカラー**を設定します。
- 水平および垂直の**オフセット**フィールドに、-72～+72 ポイント、-1.0～1.0 インチまたは-25.4～25.4 mm の値を入力します。

折りマークを設定するには

折りタブで、折りマークの長さや外観を設定したり、個々のマークを無効にしたりできます。

1 **ページマーク**ウィンドウで、**折り**タブをクリックします。

2 **折りマーク印刷**チェックボックスを選択します。

3 次のうち任意のものを設定します。

- マークの水平方向および垂直方向の長さ（1～216 ポイント）を設定します。
- 折りマークの**トンボタイプ**を点線または実線に設定します。

- 折りマークの**トンボ幅**を 1/4〜3 ポイントの範囲で設定します。
- **トンボカラー**を設定します。

ページ情報の属性を設定するには

ジョブラベルの内容と場所は、**ジョブラベル**タブで設定できます。VDP ジョブのジョブラベルの内容は、VDP 以外のジョブとは異なります。

1 **ページ情報**タブをクリックします。

2 以下のチェックボックスを選択し、ページ情報に関連した情報を表示します。

- **ジョブラベルの印刷**
- **ジョブ名**
- **シート情報**
- **日時**

次の点に注意してください。

- 標準ジョブのシート情報には、シート番号とサーフェス情報（おもてまたは裏）が含まれます。
- VDP ジョブの場合は、絶対シート番号を表示する**出力シート番号**チェックボックスをクリックすることもできます。印刷されたシートの合計数が 500 の場合、絶対シート番号は 1 〜 500 です。

3 ラベルを配置する領域をクリックします。

4 **横**または**縦**をクリックし、ジョブラベルをシートの上で水平または垂直のどちらで配置するかを指定します。

5 （オプション）オフセットの X 値と Y 値を入力します。

オフセットは原点から測定します。

ブランクページテキストを設定するには

間接的ブランクページに表示する内容は、**ブランクページテキスト**タブで設定できます。

1 **ブランクページテキスト**タブをクリックします。

2 **ブランクページテキストを印刷する**チェックボックスを選択します。

3 間接的ブランクページに表示するテキストを入力します。

Fiery Impose Plus でレジストレーションマークおよびバーコードを設定する

面付けレイアウトにはレジストレーションマークやバーコード、またはその両方を含めることができます。このオプションにより、自動ドリフト補正や Duplo オフラインフィニッシャーの機器設定が可能です。

Duplo フィニッシャーではシート上面の先端右にマークが必要なので、レジストレーションマークの位置によって、シート上面の先端が決まります。

1 Windows では、**Fiery Impose Plus** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**を選択します。macOS の場合、環境設定は **Impose Plus** ウィンドウの Fiery Command WorkStation メニューにあります。

2 **フィニッシャー**タブの**デバイス選択**フィールドで、次のいずれかをクリックします。

- **Duplo DC-646（2 桁のバーコード）**
- **Duplo DC-646（3 桁のバーコード）**
- **カスタム**
- **ユーザーがインストールしたデバイスのプロファイル名**

3 Fiery Impose Plus **設定**ウィンドウの**ページマーク**リストで**定義**を選択します。
ページマークウィンドウが開きます。

4 **ページマーク**ウィンドウで、**レジストレーションマークおよびバーコード**タブをクリックします。

5 **印刷**フィールドで、次のいずれかをクリックします。

- **印刷しない**（デフォルト）
- **レジストレーションマークのみ**
- **バーコードのみ**
- **レジストレーションマークおよびバーコード**

このドロップダウンのオプションは、デバイスの機能に基づいて表示または非表示になります。

6 **レジストレーションマークのみ**を設定した場合は、次の項目を設定します。

- **位置**：シート上のレジストレーションマークの場所です。
- **マーク長さ**および**マーク幅**：5～10 mm の長さを指定できます。また、0.4～1.6 mm の幅から指定できます。
- **マークオフセット**：マーク位置に対する垂直および水平方向のオフセットです。**給紙辺**と**右端**の両方のデフォルト値は 5 mm です。それぞれ、3～15 mm の範囲で指定できます。
- **レイアウトオフセット**：レジストレーションマークとバーコードが入るように、レイアウトをシートの給紙辺から移動する距離です。0～30 mm の範囲から指定できます。

7 **バーコードのみ**を設定した場合は、次の項目を設定します。

- **位置**：シート上のバーコードの場所です。
- **バーコードテキスト**と**バーコードタイプ**の値は、**編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **選択デバイス**で選択したデバイスによって異なります。
  - **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で **Duplo DC-646（2 桁のバーコード）**を設定した場合、次の設定を行います。
    - **バーコードタイプ**：デフォルトはコード 39 です。
    - **バーコードテキスト**：01～80 の 2 桁の数字です。
  - **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で **Duplo DC-646（3 桁のバーコード）**を設定した場合、次の設定を行います。
    - **バーコードタイプ**：デフォルトはコード 39 です。
    - **バーコードテキスト**：最大 250 までの 3 桁の数字です。
  - **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で**カスタム**を設定した場合、次の設定を行います。
    - **バーコードタイプ**：コード 39 またはコード 128 です。
    - **バーコードテキスト**:英数字と特殊文字の組み合わせをサポートしています。使用できる特殊文字は、ハイフン（-）、ピリオド（.）、ドル記号（$）、スラッシュ（/）、プラス記号（+）、パーセント記号（%）、およびスペース（ ）です。
  - **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で**ユーザーがインストールしたデバイスのプロファイル名**を選択した場合は、デバイスの製造元によって提供されるデバイスの仕様に従って、**バーコードタイプ**と**バーコードテキスト**の値を設定する必要があります。
- **プリントテキスト**：シート上のバーコードの数字を印刷します。
- **マークオフセット**：バーコードを配置するための垂直および水平方向のオフセットです。**給紙辺**のデフォルト値は 5 mm で、指定可能な範囲は 3～15 mm です。**右端**のデフォルト値は 25 mm で、指定可能な範囲は 25 mm～42 mm です。
- **レイアウトオフセット**：レジストレーションマークとバーコードが入るように、レイアウトをシートの給紙辺から移動する距離です。0～30 mm の範囲から指定できます。

8 **レジストレーションマークおよびバーコード**を選択した場合は、手順 6（49 ページ）と 7（50 ページ）で説明されているとおりに**レジストレーション**ペインで設定を指定します。

この設定はレジストレーションマークとバーコードの両方に適用されます。**バーコード**ペインでは、テキストを指定し、テキストを印刷するかどうかを指定します。

9 必要に応じて、**マークをおもて面にのみ印刷**を選択します。

Fiery Impose Plus でのブックレット設定の指定

ブックレット設定には、ブックレット製品インテントのとじ設定、行と列、およびクリープ（中とじ、および複合中とじにおいて、折り丁の折りの増加によって生じる内容領域のずれ）があります。

ブックレット用のとじ設定の指定

とじ方法ととじ辺のオプションを指定できます。とじ方法によって、ページがシートに配置される順序が変わります。2 列または 2 行を超えるレイアウトに対しては、とじ方法を選択できません。

1 次のとじ方法のいずれかを選択します。

- **中とじ**
- **複合中とじ**
- **無線とじ**

2 次のとじ辺のオプションから 1 つを設定します。

- **左とじ**
- **右とじ**
- **上とじ**

メモ：上辺とじは、レイアウト設定が 2 行 x 1 列または 2 行 x 2 列の場合にのみ使用できます。

ブックレットの製品インテントで行と列を指定する

ブックレットの**行と列のレイアウト**設定では、**1 x 2**、**2 x 2**、または **2 x 2 反復製本レイアウト**を指定できます。

1 **行と列のレイアウト**メニューを選択します。

2 **1 x 2**、**2 x 2**、または **2 x 2 反復製本レイアウト**を選択します。

使用できる設定は、とじスタイルによって異なります。

3 **中央に合わせる**チェックボックスを選択し、ページ内容の初期配置を定義します。

クリープ設定を指定して**内**を選択している場合は、**中央に合わせる**を使用して面付け済みページにスペースを設けたり、クリープ量を示すとじしろを指定したりできます。

辺とじオプションに使用できるスタイル

次の表に、とじ製本オプションで使用できる**スタイル** 設定を示します。この設定は PostScript または PDF ジョブに適用できますが、VDP ジョブには適用できません。

メモ：反復ブックレット製本レイアウトでは、**スタイル**設定によってブックレットの向きが変更されます。**ギャングアップ**レイアウトでは、**スタイル**設定によってページの向きが変更されます。

とじ方法	標準	上-上	下-下	上-下	下-上
左とじ製本	可能	可能	可能	不可	不可
右とじ製本	可能	可能	可能	不可	不可

とじ方法	標準	上-上	下-下	上-下	下-上
上とじ製本	可能	不可	不可	可能	可能

クリープ設定の指定

クリープオプションでは、印刷の向きとシートの厚さを設定します。

1 **クリープ**メニューで、印刷の向きの設定のいずれかを選択します。

- **なし**：クリープ補正は適用されません。
- **内**：最も外側にあるシートのページ位置は変わりません。他のすべてのシートでは残りページの位置が背表紙方向に移動します。
- **外**：最も内側にあるシートのページ位置は変わりません。他のすべてのシートでは残りページの位置が背表紙と反対方向へ移動します。

2 次のいずれかの方法で、シートの厚さを設定します。

- クリープ調整メニュー内のオプションをクリックします。
- カスタムの厚さを選択するには、0～2 ポイントの間の値または別の測定単位での相当値を入力します。

向きが混在する面付けジョブでの自動ページ回転

自動ページ回転機能を使用すると、横と縦のページが混在する状況でブックレット（別の仕上げジョブ）を容易に作成できます。すべてのページの向きが揃い、かつページの内容が途切れないように、ブックレットの配置を簡単に調整できます。

この機能は、ユーザー定義またはトリムボックスに合わせるのどちらかの仕上がりサイズを使用している、普通、ギャングアップ、ブックレットの各ワークフローで有効です。バリアブルデータ印刷ワークフローやカスタム回転では使用できません。

1 Fiery Impose Plus の**設定**ペインで、**ブックレット**（デフォルトの**中とじ**および**左**を使用）を選択してブックレットを作成し、**仕上がりサイズ**を**ユーザー定義**に設定します。

2 シートサイズを選択します。

3 **自動ページ回転**メニューで、次のいずれかの自動回転方向を選択します。

- **90 度時計回り**
- **90 度反時計回り**

4 **拡大縮小**で、**均等に仕上がりサイズに合わせる**を選択します。

5 **設定**ペインの上部にある保存アイコンをクリックします。

6 テンプレートの名前を入力し、通常の面付けジョブとして保存します。

7 **OK** をクリックします。

8 保存しないでジョブを閉じます。

9 Hot Folders を開きます。

10 **次へ**をクリックし、新しいホットフォルダーを作成します。

11 **ホットフォルダー設定**ウィンドウにホットフォルダーの名前を入力します。

12 **選択**、**接続**の順にクリックして Fiery サーバーに接続します。

13 **ジョブアクション**メニューで**処理後待機**を選択します。

14 **ジョブのプロパティ**オプションで**定義**を選択します。

15 **ジョブのプロパティ**ウィンドウで**レイアウト** > **面付けタブ**を選択します。

16 **テンプレート** オプション用に作成したテンプレートを選択します。

17 OK をクリックします。

18 **ホットフォルダー設定**ウィンドウで、**OK** をクリックします。

ホットフォルダーはデスクトップに作成されます。

19 デスクトップ上で、ページ方向の混在するジョブをホットフォルダー内にドラッグします。

20 Fiery サーバーに移動します。ジョブが表示され、処理されます。

Fiery Impose Plus での手動によるページの変更

Fiery Impose Plus を使用すると、ページの回転、編集、順序の変更、挿入、および削除を手動で行うことができます。

ページの回転

シート表示ウィンドウでは、ワイヤーフレームモードでのみページを回転できます。

- 次のいずれかの操作を行います。
  - 1 ページのみを回転するには、そのページの**回転**アイコンをクリックします。

    ズームアウトし過ぎると、**回転**アイコンが見えないことがあります。アイコンが表示されるまでズームインします。
  - ジョブの全ページを回転するには **Shift** キーと **Ctrl** キーを押し、任意のページの**回転**アイコンをクリックします。
  - 両面印刷された各シートのおもて側の特定の場所のページをすべて回転するには、**Shift** キーを押し、任意のシートのその場所で任意のページの**回転**アイコンをクリックします。
  - 両面印刷された各シートのおもて側とうら側の特定の場所のページをすべて回転するには、**Ctrl** キー（Windows）または **Cmd** キー（macOS）を押し、任意のシートのその場所で任意のページの**回転**アイコンをクリックします。

ジョブを開いて Acrobat で編集する

Fiery Impose Plus では、Adobe Acrobat でジョブを開いて編集できます。

メモ：Fiery Impose Plus との統合には、有効な Adobe サブスクリプションが必要です。

- **ページ表示**ウィンドウでページを右クリックし、**Acrobat で編集**をクリックします。

ページの順序の変更

個々のページの順序を手動で変更するには、メインウィンドウでページを並べ替えます。

- **ページ表示**ペインで、移動するサムネイルを選択し、ページを新しい位置にドラッグします。

手動によるブランクページの挿入

レイアウトにブランクページを追加できます。

- **ページ表示**ペインで、ページを追加する場所のページを選択し、**ページ表示**ツールバーの**ブランクページ挿入**アイコンをクリックします。

ページの削除

ページをすばやく削除できます。

- **ページ表示**ペインでページを右クリックし、表示されるメニューから**削除**を選択します。

Fiery Impose Plus の VDP

Fiery Impose Plus のバリアブルデータ印刷（VDP）面付けは、通常の面付けジョブで使用可能な多くの機能を利用します。しかしながら、VDP と通常の面付け、そして Fiery Impose Plus ウィンドウには差があります。

バリアブルデータ印刷（VDP）ジョブは 1 つまたは複数のバリアブルデータ記録から成ります。

メモ：Fiery Impose Plus でサポートされる VDP 形式の詳細については、プリンターの取扱説明書を参照してください。

Fiery Impose Plus で作成されたカスタムテンプレートを使用して、VDP ジョブを面付けできます。

VDP ジョブにテンプレートを適用すると、テンプレートの面付けレイアウトがジョブの各レコードに順序通りに適用されます。

- 各レコードは新しいシートで始まります。
- シートがレコードで完全にフィルされないと、Fiery Impose Plus によってシートサーフェス上の残りのスロット分のブランクページが 1 枚または複数枚挿入されます。
- 各レコードのページ数は異なることがあります。レコード間のページの長さの違いを補正するために、Fiery Impose Plus によってブランクページが挿入されます。

VDP ジョブを開く/プレビューするには

ジョブセンターの**待機**リストからバリアブルデータ印刷（VDP）ジョブを開くことができます。処理済みの VDP ジョブをプレビューするには、**ラスタープレビュー**ウィンドウを使用します。

- 次のいずれかを行います。
  - バリアブルデータ印刷ジョブを開くには、ジョブセンターの**待機**リストでそのジョブを右クリックします。
  - バリアブルデータ印刷ジョブをプレビューするには、**ラスタープレビュー**ウィンドウ（**アクション** > **プレビュー**）を使用します。

    プレビューにはジョブに適用されている面付け設定がすべて含まれます。ジョブの内容は、レコードまたは仕上げセットによって設定された実際のサイズで表示されます。

バリアブルデータ印刷ジョブの面付け

面付け設定はバリアブルデータ印刷ジョブの各ページに適用されます。多くのバリアブルデータ印刷面付け設定は、バリアブルデータ印刷以外のジョブに対するものと同様です。

メモ：普通、**ブックレット**、**ギャングアップ**は、バリアブルデータ印刷面付けで利用できるワークフロー（製品インテント）です。

バリアブルデータ印刷ジョブの面付けをする際は、次の点に注意します。

- **シートサイズ**メニューには、現在選択されているシートサイズと直近に使用されたシートサイズが含まれている
- **テンプレート**メニューでは、Fiery Impose Plus で作成されたカスタムテンプレートを選択できる
- **バリアブルデータ印刷面付け**ウィンドウでカスタムテンプレートを作成する際は、バリアブルデータ印刷専用機能にアクセスするためにバリアブルデータ印刷ジョブを開いておく必要がある

VDP ジョブのコントロールストリップの印刷

コントロールストリップは、絶対的な面番号、出力セット番号、出力セットの開始位置に対する面番号、各レコードの論理ページ数を示すものです。

- **ページマーク**、**定義**の順にクリックします。

VDP 面付けのブックレット、拡大縮小、またはブリードの指定

マルチアップブックレット、ブリード、拡大縮小に関するバリアブルデータ印刷（VDP）面付け設定は、標準的な Fiery Impose Plus ジョブの設定とは若干異なります。

VDP ジョブのマルチアップブックレットの設定

バリアブルデータ印刷（VDP）ジョブで**中とじ**を選択すると、**2x2 唯一製本レイアウト**を指定できますこれによって 1 枚のシートに 2 つのレコードを印刷できます。長さが異なるレコードに対しては、Fiery Impose Plus がページ付け要件に基づいてブランクページを自動的に配置します。

仮想プリンターまたは Hot Folders から選択可能なプリセットとしてこうした設定を保存できます。

1 Command WorkStation の**待機**リストからジョブを選択し、Fiery Impose Plus を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから **Impose Plus** を選択します。
- ジョブを右クリックし、**Impose Plus** を選択します。

2 **Impose Plus** ウィンドウで、製品インテントに**ブックレット**を選択し、とじ方に**中とじ**を選択します。

3 次の綴じスタイルのいずれかを選択します。

- **左**
- **右**
- **上**

4 **編集**をクリックするか、**シート**オプションにシートサイズを指定します。

5 **表紙**をクリックし、表紙設定を指定します。

6 **表紙の用紙**ウィンドウの**おもて表紙**および**裏表紙**オプションで、次のいずれかを選択します。

- **なし**
- **内側**
- **外側**
- **両面**

7 **OK** をクリックします。

8 **レイアウト方向**を指定します。

9 **行と列のレイアウト**オプションで **2x2 唯一製本レイアウト**を選択します。

メモ：2x2 唯一製本レイアウトは、VDP ジョブでのみ使用できます。PostScript や PDF のジョブに面付けをする場合に同じテンプレートを使用すると、デフォルト設定は **2x2 反復製本レイアウト**になります。

10 必要に応じてその他の設定を指定します。

VDP 面付けでのブリードまたは拡大縮小の設定

VDP 面付けでブリードを設定すると、トンボ（トリミングマーク）の位置が変化します。デフォルトでは、Fiery Impose Plus のトンボ（トリミングマーク）は画像の端に配置されます。VDP 面付けにブリード値を適用すると、トンボ（トリミングマーク）がブリードの分だけ自動的にオフセットされます。

- 次のいずれかの操作を行います。
  - **ブリード**では、**横**および**縦**フィールドにブリード値を入力します。
  - **拡大縮小**ペインで、**拡大縮小**メニューから、**用紙サイズに合わせる**、**100%**、または**カスタム**を選択します。

    カスタムを選択した場合、**拡大縮小率**フィールドに拡大縮小率を入力します。

VDP 面付けでのギャングアップ設定

バリアブルデータ印刷（VDP）面付けでは、ページレベルまたはレコードレベルのどちらかで**ギャングアップ**を処理できます。

次のいずれかを選択します。

- **単一レコードモード** - 面付けは一度に 1 つのレコードに適用されます。Fiery Impose Plus は、単一レコード内のページに対して**ギャングアップ**操作を実行します。
- **複数レコードモード** - 面付けは一度に複数のレコードに適用されます。Fiery Impose Plus は、複数レコード内のページに対して**ギャングアップ**操作を実行します。

ギャングアップ	VDP オプション VDP ギャングアップ	使用可否	Fiery Impose Plus 同等の以前のバージョン
唯一	単一レコードモード 複数レコードモード	有効化 有効化	唯一 複数レコードギャングアップ
繰り返す	単一レコードモード 複数レコードモード	有効化 なし	繰り返す なし
唯一 – 丁合い	単一レコードモード 複数レコードモード	有効化 有効化	唯一 – 丁合い カットスタック
反復 – 丁合い	単一レコードモード 複数レコードモード	有効化 なし	反復 – 丁合い なし
Duplo-短辺給紙	単一レコードモード 複数レコードモード	なし 有効化	なし なし

ギャングアップ	VDP オプション VDP ギャングアップ	使用可否	Fiery Impose Plus 同等の以前のバージョン
Duplo-長辺給紙	単一レコードモード 複数レコードモード	なし 有効化	なし なし

VDP ジョブの単一レコード面付け

単一レコード面付けでは、バリアブルデータ印刷（VDP）ジョブ内の各レコードが一度に 1 つずつ面付けされます。同じ面付け形式が各レコードに対して反復されます。

どの面付けシート（折り丁）にも単一レコードのページのみが含まれ、そのレコードからのページではシートを完全に埋めることができない場合は、ブランクページが挿入されます。

VDP ジョブの**単一レコード面付け**では、**ギャングアップ反復**、**ギャングアップ唯一**、**唯一 - 丁合い**がサポートされています。

図 1: ギャングアップ反復を使用した単一レコード面付けの例（8 レコード、1 レコードあたり 2 ページ、1 行 x2 列のレイアウト、片面印刷、R=レコード、P=ページ、S=シート）



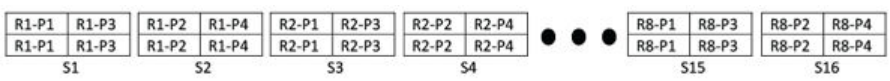
図 2: ギャングアップ唯一を使用した単一レコード面付けの例（8 レコード、1 レコードあたり 2 ページ、1 行 x2 列のレイアウト、片面印刷、R=レコード、P=ページ、S=シート）



図 3: 唯一 - 丁合いを使用した単一レコード面付けの例（8 レコード、1 レコードあたり 4 ページ、1 行 x2 列のレイアウト、片面印刷、R=レコード、P=ページ、S=シート）



図 4: 反復 - 丁合いを使用した単一レコード面付けの例（8 レコード、1 レコードあたり 4 ページ、2 行 x2 列のレイアウト、1 行 x2 列の製品、片面印刷、R=レコード、P=ページ、S=シート）



VDP ジョブの複数レコード面付け

複数レコードの面付けでは、VDP ジョブ内の複数のレコードが 1 枚のシートに面付けされます。複数レコードが一度に処理されます。

VDP ジョブの**複数レコードの面付け**では、**複数レコード丁合い**と**カットスタック**がサポートされます。**カットスタック**では、カットパイルを並べ替えずにすばやく重ねられるように、シート上に複数レコードを配置できます。多くのレコードを含む大規模なジョブの場合、ジョブをセットに分けて、取り扱いを容易にすることができます。

図 5: 8 つのレコードに対する複数レコード丁合い、レコード当たり 2 ページ、1 行 x 2 列のレイアウト、片面印刷の例 R = レコード、P = ページ、S = シート

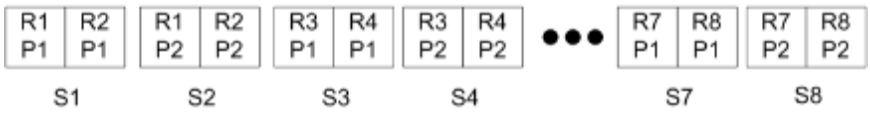


図 6: 8 つのレコードに対するカットスタック、レコード当たり 2 ページ、1 行 x 2 列のレイアウト、片面印刷の例 R = レコード、P = ページ、S = シート



Duplo VDP ギャングアップ

Duplo VDP ギャングアップレイアウトは、給紙 Duplo スリッター/カッター/クリーサーフィニッシャー用のページ付け形式をサポートしています。Duplo ギャングアップ形式により、印刷対象シートを 1 枚ずつ送信順に仕上げるページ付けが作成されます。

メモ：Duplo ギャングアップレイアウトでは、**スタイル**設定を使用できません。また、**おもて表紙**も**裏表紙**も指定できません。

使用できる **Duplo ギャングアップ**レイアウトは次のとおりです。

- **Duplo-短辺給紙** - 最後に印刷されたシートを用紙の短辺から Duplo フィニッシャーに供給できるページ付け方向を設定します。
- **Duplo-長辺給紙** - 最後に印刷されたシートを用紙の長辺から Duplo フィニッシャーに供給できるページ付け方向を設定します。

多機能仕上げデバイスとの統合

Fiery Impose Plus は、スリッター、カッター、クリーサー、ミシン目機能を備えたインラインおよびオフラインの多機能フィニッシャーと統合されています。 または **Fiery Impose Plus** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャ**

ーから仕上げデバイスを選択できます。選択した仕上げデバイスに応じて、次のタスクを 1 つまたは組み合わせて実行できます。

- レジストレーションマークおよびバーコードの設定（60 ページ）
- フィニッシャープリセットの適用（60 ページ）
- フィニッシャープリセットの作成（63 ページ）

メモ：タスクはデバイスに依存しており、選択した仕上げデバイスでサポートされている場合にのみこれらのタスクを実行できます。

レジストレーションマークおよびバーコードの設定

Fiery Impose Plus では、選択した仕上げデバイスでサポートされているレジストレーションマークおよびバーコードのタイプのみが使用できます。面付けしたレイアウトにレジストレーションマークとバーコードを挿入できます。詳細については、Fiery Impose Plus でレジストレーションマークおよびバーコードを設定する（49 ページ）を参照してください。

フィニッシャープリセットの適用

ジョブに適用できるプリセットには、次の 2 種類があります。

- Fiery Impose Plus との直接統合がないオフラインフィニッシャーまたはフィニッシャーで使用可能な.xml 形式のフィニッシャーレイアウトファイル。これらのフィニッシャーレイアウトファイルは、テンプレートとしてインポートおよび保存できます。詳細については、フィニッシャーレイアウトファイルについて（60 ページ）を参照してください。
- Fiery Impose Plus と直接統合されたインラインフィニッシャーまたはフィニッシャーで使用可能な既存のプリセット。詳細については、既存プリセットの適用（62 ページ）を参照してください。

どちらの方法でもプリセットを適用する場合、ジョブに適用される面付け設定は仕上げデバイスの設定と同じです。

フィニッシャーレイアウトファイルについて

フィニッシャーレイアウトファイルには、フィニッシャーで定義したレイアウト設定に関する情報が含まれています。一部のオフラインフィニッシャーは、フィニッシャーレイアウトファイルへのレイアウト設定のエクスポートをサポートしています。

サポートされるカット、トリム、折り目またはミシン目仕上げデバイスで定義されたレイアウト設定をフィニッシャーレイアウトファイルにエクスポートすると、レイアウト設定が同じ Fiery Impose Plus テンプレートを作成できます。新しいテンプレートを保存すると、フィニッシャーで手動による設定を行わずに、レイアウト設定を将来のジョブに適用できます。

次の点に注意してください。

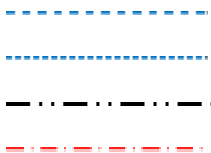
- フィニッシャープリセットの適用機能は、一部のインラインフィニッシャーおよびオフラインフィニッシャーでのみサポートされています。
- フィニッシャーレイアウトのバッチファイルのインポートはサポートされていません。

- フィニッシャーレイアウトファイルはデフォルトでインポートすると、**ユーザー定義**の仕上がりサイズの面付けテンプレートとして保存されます。Fiery Impose Plus で設定された仕上がりサイズは、フィニッシャーレイアウトファイルで定義された切り取りブロックの寸法と一致します。仕上がりサイズの面付けテンプレートのレイアウトを変更する設定は、グレー表示になります。
- ジョブにテンプレートを適用すると、シート表示ウィンドウで、ページの内容の配置と、仕上げ線（折り目およびミシン目線）を確認できます。

フィニッシャー線

エクスポートされたフィニッシャーレイアウトファイルには、レイアウトパラメーターに加えて、ラインタイプに関する情報も含まれています。

次の表はフィニッシャーラインの種類を表示します。

ラインタイプ	ツール ID	サンプル
折り目	0：下へ 1：上へ	
ミシン目	0：ミシン目 1：マイクロミシン目 2：スリットスコア（ハーフカット） 3：スコア（クリース）	
折り	なし	

フィニッシャーレイアウトファイルの使用

1 Command WorkStation の**待機**リストからジョブを選択し、Fiery Impose Plus を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから **Impose Plus** を選択します。
- ジョブを右クリックし、**Impose Plus** を選択します。

2 Fiery Impose Plus では、以下で環境設定を設定します。

- Windows：**編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**
- Mac コンピューター：環境設定は、Fiery Impose Plus ウィンドウ内の Fiery Command WorkStation メニューにあります。

3 **フィニッシャー統合を許可**チェックボックスを選択して、**フィニッシャー統合**セクションの設定を指定します。

フィニッシャーが使用されていない場合は、このチェックボックスをオフにできます。

4 **フィニッシャー設定**セクションで、**デバイス選択**リストから、使用するフィニッシャーを選択します。

5 **OK** をクリックして Fiery Impose Plus を再起動し、変更を有効にします。

6 **アクション** > **フィニッシャープリセットの適用**を選択するか、**設定**ウィンドウの上部にある**フィニッシャープリセット**ボタンをクリックします。

7 フィニッシャーレイアウトファイルの保存場所を参照し、**開く**をクリックします。

メモ：フィニッシャーレイアウトファイルがインポートされると、フィニッシャーラインに関するその他の情報もフィニッシャーレイアウトファイルに保存されます。フィニッシャーレイアウトファイルで制御されるレイアウト設定の一部は、グレー表示になります。すべての設定は、面付けテンプレートが保存されている場合、または**レイアウトを消去**をクリックした場合に有効になります。

フィニッシャーレイアウトのインポートが成功すると、フィニッシャーレイアウトファイルの名前が **設定**ペインの上部、**テンプレート**リストの下に表示されます。

8 フィニッシャーレイアウトファイルに含まれていない追加設定を指定します。たとえば、ページレベルを両面または片面印刷に設定したり、拡大縮小率を定義したりします。

9 フィニッシャーレイアウトをテンプレート、通常の面付けジョブ、または統合 PDF として保存します。

メモ：インポートしたファイルの名前を変更しない場合は、その名前がテンプレートの名前として表示されます。

10 Hot Folders の Fiery Impose Plus またはワークフロー、サーバープリセット、仮想プリンター、Fiery JobFlow のいずれかを使用して、仕上がりサイズとブリードサイズが同じジョブにテンプレートを適用します。

Fiery Impose Plus を使用してジョブにテンプレートを適用すると、ページの内容の配置と、折り目およびミシン目の仕上げ線を確認できます。

11 フィニッシャーレイアウトファイルをインポートした後、ツールバーの**フィニッシャーレイアウトのラインを表示**ボタンをクリックしてフィニッシャーラインを表示します。

インポート時にテンプレートを保存した場合、フィニッシャーラインの情報は Fiery Impose Plus テンプレートと一緒に保存されるため、テンプレートをロードするたびに利用できます。

既存プリセットの適用

既存のフィニッシャープリセットを適用するには、まず**フィニッシャー統合を許可**オプションを選択し、**Fiery Impose** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**で仕上げデバイスを指定する必要があります。詳細は、ユーザー環境設定について（10 ページ）を参照してください。

1 Command WorkStation の**待機**リストからジョブを選択し、Fiery Impose Plus を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから **Impose Plus** を選択します。
- ジョブを右クリックし、**Impose Plus** を選択します。

2 Fiery Impose Plus **設定**ウィンドウで、**フィニッシャープリセット**をクリックします。

フィニッシャープリセットウィンドウが表示されます。

3 **フィニッシャープリセット**リストからフィニッシャープリセットを選択します。

メモ：フィニッシャープリセットウィンドウのその他部分は読み取り専用です。**フィニッシャープリセット**ウィンドウの詳細については、フィニッシャープリセットウィンドウでの設定（65 ページ）を参照してください。

4 **適用**をクリックして、選択したフィニッシャープリセットをジョブに適用します。

既存のプリセットを適用する場合、**レイアウト**、**折り目**、**ミシン目**の各タブの設定は読み取り専用になります。プリセットの適用後、プリセットで制御される一部のレイアウト設定はグレー表示になります。フィニッシャープリセットで適用された設定を削除するには、**設定**ウィンドウで**レイアウトを消去**をクリックします。

フィニッシャープリセットの作成

Fiery Impose Plus では、対応するフィニッシャーの設定に基づいてフィニッシャープリセットを作成できます。フィニッシャープリセットを作成すると、レイアウトの設定はフィニッシャーの制限や制約に関して同時に検証されます。そのため、公開するプリセットにはフィニッシャーとの互換性があります。公開されたプリセットは、Duplo PC Controller コンピューターのジョブキューにエクスポートされます。公開済みプリセットをジョブに適用すると、フィニッシャーは印刷出力に必要な仕上げ機能を実行できます。

メモ：この機能は現在、使用しているフィニッシャーにのみ対応しています。

フィニッシャープリセットを作成するには、次のタスクを実行します。

1 フィニッシャー環境設定の設定（63 ページ）

2 フィニッシャープリセットを作成するための設定を指定する（67 ページ）

3 フィニッシャープリセットの公開（72 ページ）

フィニッシャー環境設定の設定

フィニッシャープリセットを作成するには、まず**フィニッシャー**タブで環境設定を指定する必要があります。

1 Command WorkStation の**待機**リストからジョブを選択し、Fiery Impose Plus を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから Impose Plus を選択します。
- ジョブを右クリックし、Impose Plus を選択します。

2 Fiery Impose Plus で**編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**を選択します。

メモ：Windows コンピューターでは、Fiery Impose Plus 環境設定を**編集** > **環境設定**で行います。Mac コンピューターの場合は、環境設定は、Impose Plus ウィンドウの FieryCommand WorkStation メニューにあります。

3 **フィニッシャー統合を許可**チェックボックスを選択して、**フィニッシャー統合**セクションの設定を指定します。

フィニッシャーが使用されていない場合は、このチェックボックスをオフにできます。

4 **デバイス選択**リストから、使用するフィニッシャーを選択します。

メモ：フィニッシャープリセットの作成は現在、使用しているフィニッシャーでのみサポートされています。

フィニッシャーを選択した場合は、次の追加設定を指定します。

5 Duplo PC Controller コンピューターのインストールフォルダーにアクセスするには、次のいずれかを実行します。

- **PC コントローラーパス**で、Duplo PC コントローラーコンピューターのインストールフォルダーへのパスを指定します。

  インストールフォルダーには、Duplo PC Controller コンピューターに作成したインポートおよびエクスポートフォルダーの詳細を含む設定ファイルが含まれています。

- Duplo PC Controller コンピューターでインストールフォルダーを選択し、**プリセットのパス**フィールドに入力するには、**参照**をクリックします。

メモ：Fiery Impose Plus との統合を可能にするために、Duplo PC Controller コンピューターの設定を若干変更する必要があります。詳細は、Duplo PC Controller ソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

Fiery サーバーと Duplo PC Controller ソフトウェアを搭載したコンピューターの間の接続をテストする場合は**テスト**をクリックします。

プリセットをインポートをクリックして、バックアップまたはダウンロードしたプリセットをインポートすることもできます。

メモ：インポートしたプリセットが**フィニッシャープリセット**ウィンドウに一覧表示されます。

6 フィニッシャーで使用可能なミシン目モジュールの数を、対応するリストから指定します。

フィニッシャーモジュール	説明	対応フィニッシャー
CPM	十字ミシン目モジュール（CPM）は、横方向ミシン目または十字ミシン目、および横方向縦スジをサポートするためにフィニッシャーにインストールされたオプションモジュールです。ミシン目は給紙辺に対して平行に行われます。ジョブで横方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの CPM モジュールが使用可能である必要があります。横方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-618
CPM	十字ミシン目モジュール（CPM）は、横方向ミシン目または十字ミシン目をサポートするためにフィニッシャーにインストールされたオプションモジュールです。ミシン目は給紙辺に対して平行に行われます。ジョブで横方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの CPM モジュールが使用可能である必要があります。横方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-648
CRM	上折り目モジュール（CRM）を使用すると、標準の下折り目（谷折り）に加えて、シートの水平方向に上折り目（山折り）をつけることができます。	• Duplo DC-648
OSM	オプションのスリッターモジュール（OSM）を使用すると、標準のスリッターモジュールと合わせて、1 シートあたり最大 8 スリットを作成できます。	• Duplo DC-648

フィニッシャーモジュール	説明	対応フィニッシャー
PFM	PFM（ミシン目モジュール－縦方向）モジュールでは、給紙辺に対して垂直方向でミシン目を入れます。ジョブで縦方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの PFM モジュールが使用可能である必要があります。 縦方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-618
RTM	ロータリーツールモジュール（RTM）は、印刷された出力の右側と左側で一度に 2 つのミシン目を入れることができる高度な縦方向ミシン目ユニットです。1 つのフィニッシャーに最大 2 つの RTM をインストールできます。	• Duplo DC-618 • Duplo DC-648

7 **最小バーコード範囲**および**最大バーコード範囲**で、フィニッシャープリセットの最小バーコード範囲および最大バーコード範囲を指定します。

メモ：バーコードは、ジョブに適用されるプリセットを識別するために使用されます。Duplo PC Controller コンピューターからプリセットをエクスポートすると、ジョブの印刷時にバーコード番号がシートに配置されます。印刷された出力をフィニッシャーに挿入すると、フィニッシャーのスキャナーがバーコードをスキャンし、プリセット番号を使用して自動的に正しいプリセットをジョブに割り当てます。

フィニッシャー環境設定を指定した後、変更を有効にするには、Fiery Impose Plus を再起動する必要があります。

フィニッシャープリセットウィンドウでの設定

フィニッシャープリセットを作成するには、Fiery Impose Plus でスプール済みジョブを表示し、**フィニッシャープリセット**ウィンドウで設定します。**フィニッシャープリセット**ウィンドウでは、**レイアウト設定**（68 ページ）、**折り目**（69 ページ）、**ミシン目**（69 ページ）の 3 つのタブで設定できます。

次の点に注意してください。

- 指定する各設定の適用範囲は、**フィニッシャープリセット**ウィンドウの下部にあるステータスバーに表示されます。
- **フィニッシャープリセット**ウィンドウで設定を指定すると、**シート表示**ウィンドウで変更をプレビューできます。**フィニッシャープリセット**ウィンドウで設定を指定しない場合、デフォルト値が自動的に設定されます。
- 設定とタブは順番に移動できます。ただし、前の設定またはタブに戻ると、指定したすべての値と設定がデフォルト値に戻ります。
- 情報メッセージや警告メッセージなどの診断情報は、**設定**ウィンドウの下部に表示されます。

次のコントロールを使用して、**フィニッシャープリセット**ウィンドウで設定を指定できます。

項目	説明
フィニッシャーモデル	**Fiery Impose Plus** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で指定したフィニッシャーの名前とモデルが表示されます。 **使用可能なモジュールを表示**をクリックして、CPM、PFM、RTM に指定されたモジュール数を表示します。詳細は、フィニッシャー環境設定の設定（63 ページ）を参照してください。
フィニッシャープリセット	既存のプリセットから新規プリセットを作成するには、**新規プリセット**を選択するか、**このプリセットを使用して新規作成**をクリックします。既存のプリセットもこのリストに含まれています。詳細については、既存プリセットの適用（62 ページ）を参照してください。 **メモ：**フィニッシャープリセットの作成は、一部のフィニッシャーでのみサポートされています。
ジョブ/バーコード番号	シートに表示するバーコードに対応する番号を指定します。新しいプリセットを作成すると、次の使用可能な連番が自動的にプリセットに割り当てられます。 **メモ：**バーコードはフィニッシャーによって異なります。
設定	左側のリストで横方向のミシン目の数を、右側のリストで縦方向のミシン目モジュールの数を指定します。 **メモ：**このオプションはフィニッシャーに応じて使用できます。
レイアウト設定タブ	フィニッシャープリセットのレイアウト設定を指定します。詳細については、レイアウトタブで設定を指定する（68 ページ）を参照してください。
折り目タブ	折り目の数を指定します。詳細については、折り目タブで設定を指定します。（69 ページ）を参照してください。
ミシン目タブ	横方向ミシン目および縦方向ミシン目の数を指定します。さらに、各ミシン目に適用できるパターンとセグメントを定義します。詳細については、ミシン目タブで設定を指定する（69 ページ）を参照してください。
ステータスバー	ウィンドウの下部に各設定の有効範囲を表示します。次の設定に進むには、有効範囲内の値を入力する必要があります。
矢印	キーボードの矢印キーを使用して、タブ内の設定を移動します。 または、**Tab** キーを使用して次の設定に移動し、**Shift** + **Tab** キーでひとつ前の設定に戻します。
次へおよび戻るボタン	タブ間を移動します。
適用ボタン	ジョブに設定を適用します。 **メモ：**適用では、レイアウトはプリセットとして公開されません。レイアウトがジョブに適用されたら、**設定**ウィンドウで**レイアウトを消去**または**公開**を選択できます。

項目	説明
適用して公開ボタン	1 回のクリックで適用機能と公開機能の両方を実行します。**ミシン目**タブで**適用して公開**が表示されます。**レイアウトの公開**ウィンドウで設定を指定し、**公開**をクリックして、設定に基づいてフィニッシャープリセットを生成します。このフィニッシャープリセットは、Duplo PC Controller コンピューターにエクスポートされます。

フィニッシャープリセットを作成するための設定を指定する

プリセットを作成するには、**フィニッシャープリセット**ウィンドウで設定を指定する必要があります。詳細は、フィニッシャープリセットウィンドウでの設定（65 ページ）を参照してください。

1 Command WorkStation の**待機**リストからスプール済みジョブを選択し、Fiery Impose Plus を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから Impose Plus を選択します。
- ジョブを右クリックし、Impose Plus を選択します。

2 **設定**ペインで、**フィニッシャープリセット**をクリックして、**フィニッシャープリセット**ウィンドウを開きます。

3 **使用可能なモジュールを表示**をクリックして、使用しているフィニッシャーのオプションに指定されたモジュール数を表示します。

フィニッシャーモデルには、**編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で指定したフィニッシャーの名前が表示されます。

詳細は、フィニッシャー環境設定の設定（63 ページ）を参照してください。

4 プリセットを作成するには、次のいずれかを実行します。

- **フィニッシャープリセット**リストから**新規プリセット**を選択します。
- 既存のプリセットから新規プリセットを作成するには、**このプリセットを使用して新規作成**をクリックします。

次の点に注意してください。

- この機能は現在、使用しているフィニッシャーでサポートされています。
- **フィニッシャープリセット**リストから既存のプリセットを選択できます。詳細については、既存プリセットの適用（62 ページ）を参照してください。

5 **ジョブ/バーコード番号**で、シートに表示できるバーコードに対応する番号を指定します。

メモ：バーコードはフィニッシャーによって異なります。

下部のステータスバーでバーコード範囲を表示できます。新しいプリセットを作成すると、次の連番が自動的にプリセットに割り当てられます。

6 **設定**で、左側のリストで横方向のミシン目の数を、右側のリストで縦方向のミシン目モジュールの数を指定します。

フィニッシャーのスロット数によっては、横方向のミシン目を 1 に指定した場合、縦方向のミシン目モジュールとして 1 のみを選択できます。ただし、ジョブが横方向のミシン目を必要としない場合は、横方向のミシン目リストで 0 を選択すると、最大 2 つの縦方向ミシン目のモジュールを使用できます。ジョブが

ミシン目を必要としない場合は、横方向ミシン目リストおよび縦方向ミシン目リストで **0** を選択します。使用可能なスロット数はフィニッシャーによって異なります。設定可能な縦方向ミシン目の数は、横方向の操作が必要かどうかによって異なります。

選択したフィニッシャーに応じて、次のいずれかの横方向ミシン目を選択できます。

- **横方向ミシン目（CPM）**
- **横方向上折り目（CRM）**

上折り目とミシン目を同時に使用することはできません。

メモ：縦方向ミシン目の場合、使用可能なモジュールの最大数は、**Fiery Impose Plus** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**の PFM および RTM で指定した値によって決定されます。PFM および RTM の詳細は、フィニッシャー環境設定の設定（63 ページ）を参照してください。

レイアウトタブで設定を指定する

1. **シートサイズ**リストから、ジョブに必要な用紙サイズを選択します。

   シートサイズには、フィニッシャーがサポートする用紙サイズのみが表示されます。サイズを選択すると、**シート表示**ウィンドウで選択した用紙サイズでジョブをプレビューできます。**編集**をクリックして、用紙の種類、重量、カラーなど、その他の用紙関連の仕様を選択します。

2. シートの給紙方向を設定するには、**フィニッシャー給紙方向**リストから**縦**または**横**を選択します。

   メモ：シート表示ウィンドウのジョブのプレビューには、シートの想定されている給紙辺を示す矢印が上部に表示されます。

3. ジョブの印刷時にシートにバーコードを表示するには、**バーコード**チェックボックスを選択します。

   このチェックボックスを選択すると、**ジョブ/バーコード番号**で選択した番号に対応するバーコードがシートに表示されます。デフォルトでは、バーコードは右上隅に表示されます。

4. **仕上がりサイズ**で、仕上がり後のジョブのサイズを指定します。左側のリストで幅、右側のリストで高さを指定できます。

5. **行と列**でシートに適用する行と列の数を選択します。

   シートサイズと**仕上がりサイズ**で指定した値に応じて、シートに収まる行と列の数が自動的に計算されます。

6. **とじしろ**で、縦方向と横方向のとじしろを指定します。とじしろは次のいずれかのように設定できます。

   - **固定**：横方向のとじしろと縦方向のとじしろに同じ値を設定します。
   - **バリアブル**：横方向のとじしろと縦方向のとじしろに異なる値を設定します。

   メモ：とじしろは、シート上の 2 つの隣接ページ間の間隔を指します

7. **レイアウトオフセット**の左側のフィールドで、シートの上端（給紙辺）とジョブの開始点の間の距離を指定します。右側のフィールドで、シートの右端とジョブの開始点の間の距離を指定します。

   メモ：シートのフィニッシャーマークに必要な追加のスペースを収めるために、**レイアウトオフセット**を指定する必要があります。

8 **次へ**をクリックして、**折り目**タブと**ミシン目**タブの設定を指定します。ジョブに折り目またはミシン目を必要としない場合は、次のいずれかを実行します。

- **適用**をクリックして、ジョブに設定を適用します。
- **設定**ウィンドウで**公開**をクリックして、フィニッシャープリセットを生成し、プリセットを Duplo PC Controller コンピューターにエクスポートします。

折り目タブで設定を指定します。

1 **折り目の数**リストから仕上がり製品に適用する折り目の数を選択します。折り目の数を選択すると、**折り目位置**設定が表示されます。

2 **折り目位置**で、仕上がり製品の各折り目の位置を指定します。
フィニッシャーに応じて、次の点に留意してください。

フィニッシャー	出力結果
Duplo DC-618	• **折り目の数**リストで選択した折り目の数に応じて、折り目の位置に対応する行が表示されます。 • 折り目の位置は、仕上がりサイズの先端からの距離に基づいて計算されます。 • **折り目の数**リストで**なし**を選択すると、折り目の位置設定は表示されません。 • レイアウトに複数の仕上がり製品がある場合は、選択した折り目の数が各仕上がり製品で繰り返されます。 • 縦方向の折り目はサポートされていません。
Duplo DC-648	• CRM モジュールでは、折り目オプションを折り目ダウンまたは折り目アップに設定できます。

3 **次へ**をクリックして、**ミシン目**タブの設定を指定します。ミシン目を必要としない場合は、次のいずれかを実行します。

- **適用**をクリックして、ジョブに設定を適用します。
- **設定**ウィンドウで**公開**をクリックして、フィニッシャープリセットを生成し、プリセットを Duplo PC Controller コンピューターにエクスポートします。

ミシン目タブで設定を指定する

横方向、縦方向または横方向と縦方向の組み合わせのミシン目を、要望に合わせてジョブに適用できます。ミシン目には最低 1 つのパターンを定義する必要があります。パターンは、1 つの連続ミシン目または小さいセグメントに分割できます。

ミシン目タブの設定は、次の操作を行う場合にのみ有効になります。

- **Fiery Impose Plus** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**で、横方向ミシン目モジュールおよび縦方向ミシン目モジュールを指定します。
- **フィニッシャープリセット**ウィンドウの**設定**リストで、横方向ミシン目モジュールおよび縦方向ミシン目モジュールを指定します。

横方向ミシン目の指定

1 **横方向ミシン目数**で、ジョブに必要な横方向のミシン目の数を選択します。

横方向ミシン目の数を選択すると、Y 位置の設定が表示されます。詳細については、Y 位置（70 ページ）を参照してください。

次の点に注意してください。

- ジョブに適用できる横方向ミシン目の最大数は、仕上がりサイズによって異なります。
- **横方向ミシン目数**で**なし**を選択すると、Y 位置設定は表示されません。
- レイアウトに複数の仕上がり製品がある場合は、選択した横方向のミシン目数が各仕上がり製品で繰り返されます。

2 **パターン数**の場合は、横方向ミシン目パターンの数を選択します。

パターンの数を選択すると、パターン定義設定が表示されます。詳細については、パターン定義（70 ページ）を参照してください。

メモ：横方向ミシン目の数を選択すると、**パターン数**が自動的に 1 に設定されます。この値は必要に応じて変更できます。

3 **ツール ID** で、ジョブの要件に応じてミシン目のタイプと形状を選択します。ツール ID はデバイスによって異なります。

メモ：ジョブで横方向ミシン目が必要な場合は、ミシン目のパターンと位置を定義するために、まず**横方向ミシン目数**、**パターン**、**ツール ID** を指定する必要があります。

4 **パターン定義**で、各ミシン目のセグメント数と各セグメントの位置を定義します。**パターン数**リストで選択したパターンの数に応じて、パターン定義に対応する行が表示されます。

- **セグメント**：横方向ミシン目で必要なセグメントの数を指定します。
- **位置**：ミシン目の各セグメントの開始位置と終了位置を指定します。位置は仕上がりサイズの右端から計算されます。

5 **Y 位置**に各横方向ミシン目の位置を指定します。

次の点に注意してください。

- **横方向ミシン目数**リストで選択した横方向のミシン目の数に応じて、Y 位置に対応する行が表示されます。
- Y 位置は、仕上がりサイズの先端からの距離に基づいて計算されます。

6 **パターンを選択**で、定義済みの横方向ミシン目パターンのリストから選択します。

縦方向ミシン目

縦方向ミシン目は、PFM（ミシン目モジュール）と RTM（ロータリーツールモジュール）の 2 つの異なるメカニカルモジュールを使用して実行できます。PFM は、連続的なエンドツーエンドのミシン目を行いますが、セグメント化されたミシン目はサポートしていません。RTM は、セグメント化されたミシン目をサポートし、印刷出力の左右の 2 つの縦方向ミシン目を同時に実行することもできます。

次の点に注意してください。

- **フィニッシャープリセット** ウィンドウの**設定**リストで縦ミシン目モジュールを 1 つ選択した場合は、PFM または RTM のいずれかを使用できます。ただし、縦**設定**リストで縦ミシン目モジュールを 2 つ選択した場合は、RTM のみを使用できます。
- **フィニッシャープリセット** ウィンドウの縦**設定**リストで 2 つの縦ミシン目モジュールを選択した場合は、**ミシン目**タブで両方の縦モジュールの設定を指定する必要があります。

縦方向ミシン目を指定する

1 **モジュールタイプ**で、ジョブの種類に応じて **PFM** または **RTM** を選択します。

2 **PFM L/R** または **RTM L/R** で、シートの左右に適用するミシン目のタイプを選択します。

メモ：RTM の場合、左右にミシン目を指定すると、**縦方向のミシン目数**と**セグメント**は自動的に 1 に設定されます。これらの値は必要に応じて変更できます。

3 **縦方向ミシン目数**では、ジョブに必要な縦方向のミシン目の数を選択します。縦方向ミシン目の数を選択すると、パターン定義設定が表示されます。

次の点に注意してください。

- PFM は、シートの左右に 1 つのみの連続する縦方向ミシン目をサポートしています。
- RTM の場合、選択した縦方向ミシン目の数に応じて、パターン定義に対応する行が表示されます。

4 **パターン定義**で、縦方向ミシン目の位置を定義します。左右のミシン目の位置は仕上がりサイズの右端から計算されます。

- **X1R** および **X1L** 設定で、シートの左右にミシン目の位置を定義します。

  メモ：PFM は 1 つのみの縦方向ミシン目をサポートしています。

- RTM では、**縦方向のミシン目数**で選択した縦方向のミシン目の数に応じて、シートの左右に各ミシン目の X 位置を指定します。

RTM の場合、次の項目を設定することもできます。

- **セグメント**：縦方向ミシン目で必要なセグメントの数を指定します。
- **位置**：ミシン目の各セグメントの開始位置と終了位置を指定します。位置は仕上がりサイズの先端から計算されます。選択したセグメントの数に応じて、対応する位置の設定の数が表示されます。

メモ：セグメント化されたミシン目を実行できるのは RTM のみです。

フィニッシャープリセットの公開

1 プリセットを作成するための設定を指定した後、プリセットをジョブに適用し、プリセットを公開できます。または、プリセットを同時に適用して公開することもできます。**フィニッシャープリセット**ウィンドウで、次のいずれかを行います。

- **適用**をクリックして、ジョブに設定を適用します。**設定**ペインの**公開**をクリックします。
- **フィニッシャープリセット**ウィンドウで**適用して公開**をクリックします。

レイアウトの公開ウィンドウが開きます。

2 **レイアウトの公開**ウィンドウで、次の設定を指定します。

- **フィニッシャープリセット名**に、プリセットの名前を指定します。
- **フィニッシャージョブ番号**は、**フィニッシャープリセット**ウィンドウの**ジョブ/バーコード番号**に指定されているジョブ番号を表示します。ジョブ番号を自動生成するか、カスタムジョブ番号を指定するかを選択できます。
- Duplo PC Controller コンピューターのジョブキューにジョブを直接送信するには、**フィニッシャーのジョブキューに保存**チェックボックスを選択します。

  メモ: このオプションを選択しない場合、プリセットはエクスポートフォルダーに保存されます。Duplo PC Controller コンピューターが新しいファイルを検出し、プリセットをインポートして検証した後、プリセットをジョブキューに追加します。
- Duplo PC Controller コンピューターのジョブキューにジョブがリストされている場合に、ジョブのサムネイルプレビューを含めるには、**サムネイル画像を含める**チェックボックスを選択します。

3 **公開**をクリックします。

公開済みプリセットは、**フィニッシャープリセット**リストに一覧表示されます。同じレイアウトと仕上げ設定が必要な異なるジョブに、公開プリセットを適用できます。

次の点に注意してください。

- 情報メッセージや警告メッセージなどの診断情報は、**設定**ウィンドウの下部に表示されます。
- フィニッシャープリセットで適用された設定を削除するには、**設定**ウィンドウで**レイアウトを消去**を選択します。

Fiery Impose Plus のトラブルシューティング

より詳細な情報やサポートが必要な場合、登録ユーザーは Fiery Communities で質問できます。